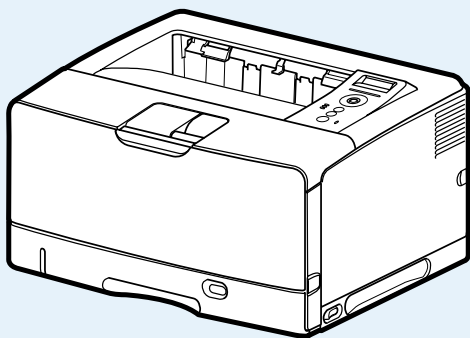
Canon

レーザービームプリンタ

Satera LBP3980/3930/3910

かんたん操作ガイド

• かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

• おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ず CD-ROM に収められている取扱説明書もあわせてお読みください。

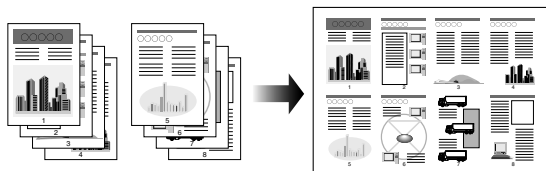
次ページに本プリンタのいろいろな印刷機能を紹介しています。あわせてご覧ください。

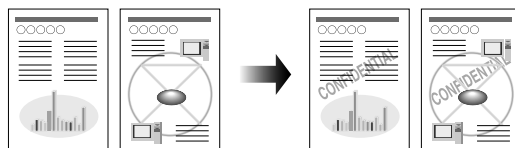
こんなことができます

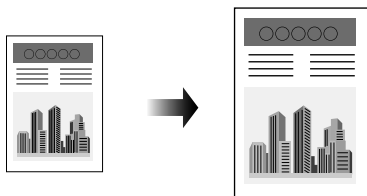
本プリンタでは、次のような印刷をすることができます。

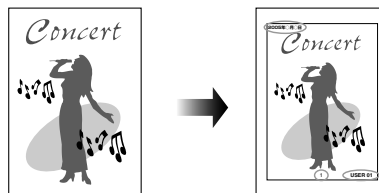
いろいろな機能を使用した印刷のしかたについては・・・
付属のCD-ROMに収められている「LIPSソフトウェアガイド」を参照してください。

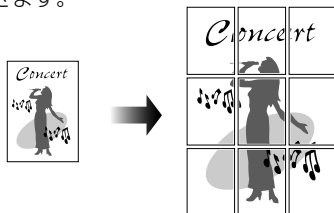
用紙1枚に複数ページを印刷する

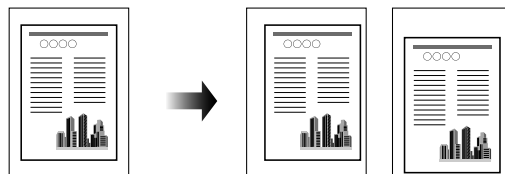
1枚の用紙に複数のページを印刷することができます。

スタンプを付けて印刷する

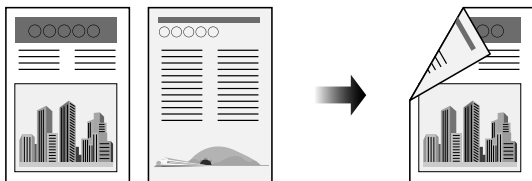
アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせて印刷することができます。

拡大／縮小して印刷する

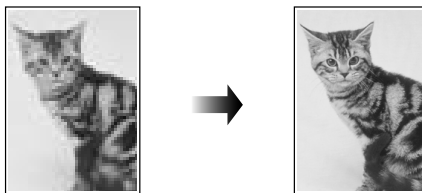
A4サイズの原稿をB5サイズの用紙に縮小して印刷したり、逆にB5サイズの原稿をA4サイズの用紙に拡大して印刷します。任意の倍率で拡大縮小することもできます。

ページに枠や日付を付けて印刷する

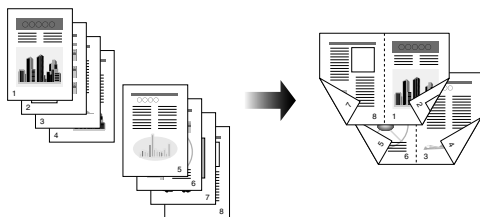
出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷することができます。

ポスター印刷を行う

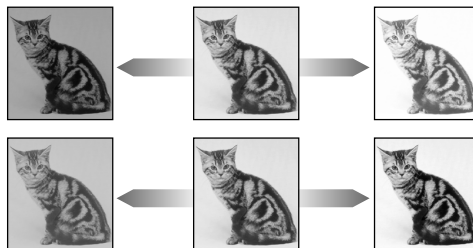
1ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷します。この印刷した複数枚の用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きなプリントを作成することができます。

とじしろを付けて印刷する

出力する用紙にとじしろを付けて印刷することができます。

両面に印刷する

2ページ分の原稿を、1枚の用紙の表と裏の両面に印刷することができます。

粗い画像を補正してなめらかに印刷する

低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷することができます。

製本印刷を行う

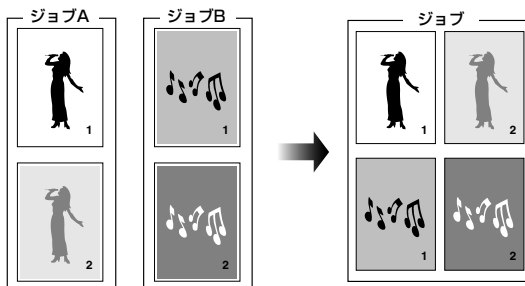
印刷した用紙を2つ折りにするだけで、本のようにすることができます。たとえば、8ページの文書を製本印刷するときは、1枚の用紙の両面に2ページずつ印刷され、合計2 枚の用紙に印刷されます。

グレーの設定をする

印刷するときの明るさ、コントラストやマッチングなど、独自の詳細なグレーの設定をすることができます。

排紙方法を選択して印刷する

●指定しない場合
ページごとに指定された部数を印刷します。

●ソートする場合
ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。

ジョブを編集する

2つ以上のジョブを1つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。また、ジョブのプレビュー表示もできます。

目次

取扱説明書 CD-ROM について

取扱説明書 CD-ROM を使用するのに必要なシステム構成

	Windows	Macintosh
OS	Microsoft Windows 98/Me 日本語版 Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2003 日本語版 Microsoft Windows Vista 日本語版	Mac OS 9.1/9.2.1/9.2.2 日本語版 Mac OS X 10.2.8 ～ 10.4.5 日本語版
メモリ	上記 OS が動作するために必要なメモリ	
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ	
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ピクセル以上（推奨）	

取扱説明書 CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

	Windows
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタのハード的なセットアップや各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項が記載されています。
LIPS ソフトウェアガイド（LSG.pdf）	各種 OS のプリンタドライバのインストール、印刷方法、ユーティリティソフトウェアの説明など、コンピュータ上で行う設定や操作について記載されています。
ネットワークガイド（NWG_3.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載されています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載されています。
リモート UI ガイド（RUG_3.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載されています。

※ 付属の CD-ROM に Windows 98/Me 用プリンタドライバは同梱されておりません。Windows 98/Me に対応したプリンタドライバは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。
LBP3980 はWindows 98/Me に対応しておりません。

※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある以下のフォルダに収められています。
・「common3」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP3980_3930_3910」フォルダ：ユーザーズガイド、LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド

取扱説明書 CD-ROM メニューについて

本製品に付属の取扱説明書 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintoshをお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いの OSが Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いの OS がMac OS 9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いのOS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。

Canon
はじめに
CD-ROMの使いかた
取扱説明書
Satera
インターネットQ&A検索
最新プリンタドライバのダウンロード
お問い合わせ窓口一覧
オンラインユーザ登録
終了
v7.3

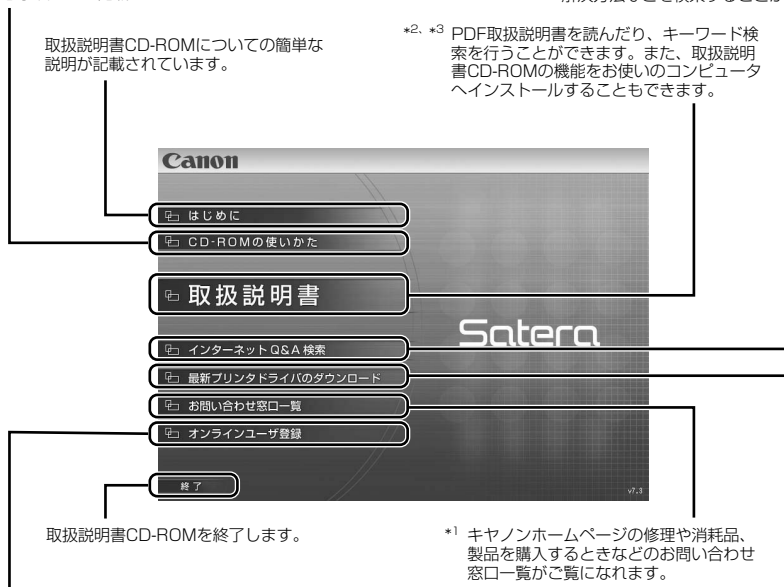
取扱説明書CD-ROMについての簡単な説明が記載されています。

*2 取扱説明書CD-ROMの使いかたや、使用上の注意事項などが記載されています。

*2、*3 PDF取扱説明書を読んだり、キーワード検索を行うことができます。また、取扱説明書CD-ROMの機能をお使いのコンピュータへインストールすることもできます。

*1 キヤノンホームページからお使いのプリンタに関しての知りたい情報や、トラブルの解決方法などを検索することができます。

*1 キヤノンホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードできます。

*1 キヤノンホームページの修理や消耗品、製品を購入するときなどのお問い合わせ窓口一覧がご覧になれます。

*1 キヤノンホームページからユーザ登録およびアンケートへの回答を行うことができます。

取扱説明書CD-ROMを終了します。

*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書またはCD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことを PDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、本機能を使用するには、Adobe Reader 6 以降をご使用ください。古いバージョンの Adobe Acrobat Reader を使用すると、該当ページを正しく表示できません。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 98 日本語版：	Windows 98
Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版：	Windows Me
Microsoft Windows 2000 日本語版：	Windows 2000
Microsoft Windows XP 日本語版：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system 日本語版：	Windows Vista
Microsoft Windows operating system：	Windows
インテリジェントコントローラ NB-J2：	NB-J2
内蔵型無線プリントサーバ NB-W2：	NB-W2

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

・紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
・国債証券、地方債証券
・郵便為替証書
・郵便切手、印紙
・株券、社債券
・手形、小切手
・定期券、回数券、乗車券
・その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名

関係法律		
	・刑法	・郵便法
	・著作権法	・郵便切手類模造等取締法
	・通貨及証券模造取締法	・印紙犯罪処罰法
	・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	・印紙等模造取締法

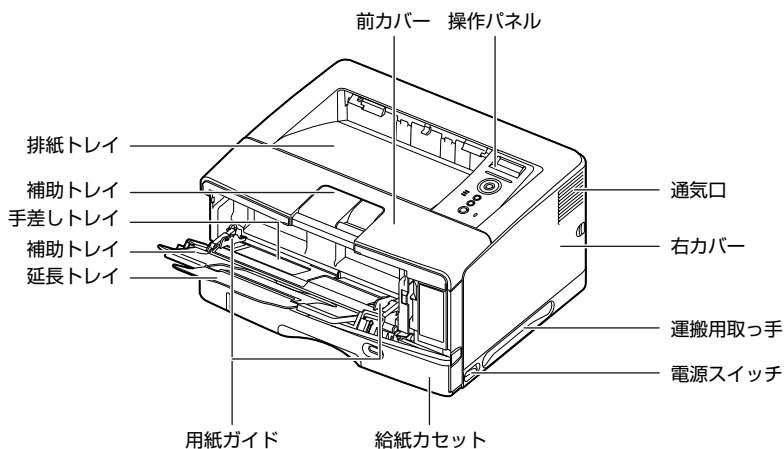
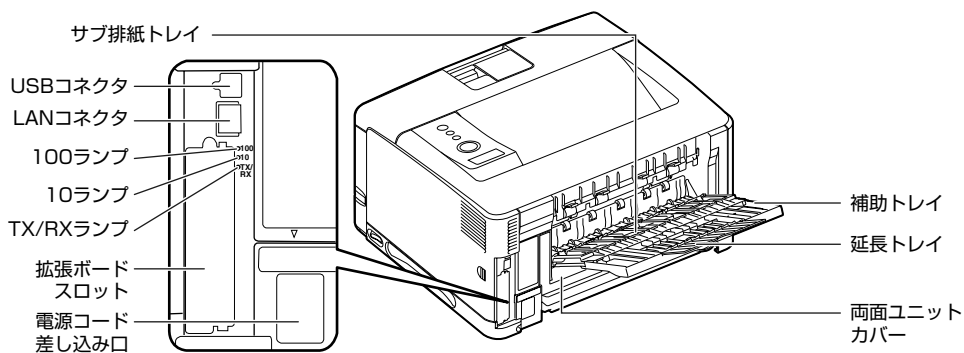
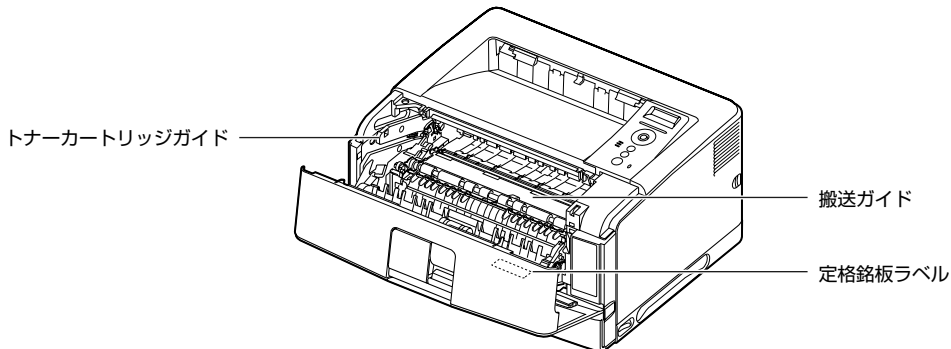
第 1 章

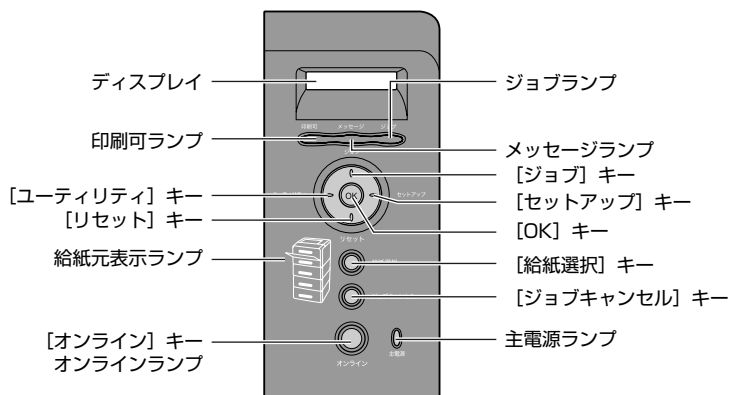
お使いになる前に

各部の名称

本体

プリンタの各部の名称を説明しています。

前面

背面

プリンタ内部

操作パネル

本プリンタの右上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ機能を使うことができます。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

00 インサツ カノウ　A4

プリンタの状態、動作欄　給紙元の用紙サイズ欄

操作パネルでメニュー操作中の状態

カクチョウ キノウ　→

操作パネルのキーの機能

操作パネルのキーはプリンタの設定や印刷ジョブの操作、トラブルの対処などに使われます。
操作パネルのキーは以下の機能と役割を持っています。

キー	機能		
	オンライン状態	オフライン状態	メニューの表示中
（オンライン）	キーが点灯している状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。	キーが消灯している状態です。	メニューの階層から抜けます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定せずに、メニューの階層から抜けます。
（ジョブキャンセル）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。		動作しません。
（給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。
（ユーティリティ）	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。
（ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
（リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。
（セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。ただし、オンライン状態では一部の設定はできません。		同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［►］と表記します。
（OK）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

印刷の中止

印刷を中止するには、コンピュータ側で中止の操作を行います。

ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示する

Windows 98 **Windows Me** **Windows 2000**

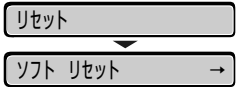
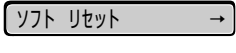
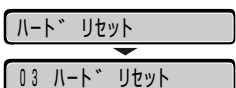
［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない（ジョブランプが点灯している）ときはプリンタの操作パネルから次の手順で「ソフト　リセット」または「ハード　リセット」の操作を行います。

お使いになる前に

ソフトリセットやハードリセットを行う

1. （リセット）を押します。

リセットメニューが表示されます。

リセット
ソフト リセット →

2. または で「ソフト　リセット」を選択します。

ソフト リセット →

3. ソフトリセットする場合は、OK を押します。

ソフト リセット
03 ソフト リセット

4. ハードリセットする場合は、OK を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

ハード リセット
03 ハード リセット

●**ソフトリセット・ハードリセットについて**

○**ソフトリセット**

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフト　リセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○**ハードリセット**

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

第２章

用紙のセットと印刷

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印刷品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。
◎：片面印刷と自動両面印刷が可能
○：片面印刷のみ可能
×：印刷不可

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
A5*	◎	◎	*2	*2	*2
B5	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎
B4	◎	◎	◎	◎	◎
A3	◎	◎	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー（11X17）	◎	◎	◎	◎	◎
ユーザ設定用紙	◎ *4	◎ *5	◎ *6	◎ *6	◎ *6
はがき *3 100.0mm × 148.0mm	○	×	×	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×	×	×
4 面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×	×	×

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
封筒 洋形４号 *3 105.0mm × 235.0mm	○	×	×	×	×
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×	×	×
角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）

*3 縦置きのみセット可能です。

*4 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・ 縦置きの場合：幅 85.0 ～ 312.0mm、長さ 127.0 ～ 470.0mm
・ 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 127.0 ～ 312.0mm、長さ 127.0 ～ 312.0mm
以下のサイズのユーザ設定用紙を自動両面印刷することができます。
・ 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・ 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*5 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・ 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm*
* 幅が 279.5 ～ 297.0mm の場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm になります。
・ 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*6 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD をお使いの場合
・ 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・ 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG をお使いの場合
・ 縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm
・ 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。
◎：片面印刷と自動両面印刷が可能
○：片面印刷のみ可能
×：印刷不可

用紙タイプ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）	カセット３（オプション）	カセット４（オプション）
普通紙 *1 60 ～ 105g/m^2	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙 106 ～ 120g/m^2	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙 121 ～ 199g/m^2	○	×	*2	*2	*2
ラベル用紙	○	×	×	×	×
OHP フィルム	○	×	×	×	×
はがき	○	×	×	×	×
封筒	○	×	×	×	×

*1 再生紙（60 ～ 105g/m^2）は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。
*2 重さ 157g/m^2 の「キヤノン推奨品 CLC 700/800 用厚紙（NS-700）」が使用できます。

● 紙の厚さについて

紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 = A4 サイズ 16 枚分

Check!

- 幅が A4 サイズ（297.0mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 1.9 ページ／分まで遅くなることがあります。）
- 用紙の種類によっては、ご使用できないことがあります。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次のような用紙はお使いにならないでください。

■ 紙づまりを起こしやすい用紙

- ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- ・不規則な形の用紙
- ・湿っている用紙、濡れている用紙
- ・破れている用紙
- ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- ・カールした用紙や折り目のある用紙
- ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙
  （裏面も使用できません。ただし、本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印刷した同一面に再度印刷することはできません。）
- ・バリのある用紙（裁断状態が悪い用紙）
- ・しわのある用紙
- ・角折れのある用紙

■ 高温によって変質する用紙

- ・定着器の加熱温度（約 270 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- ・感熱用紙
- ・表面加工したカラー用紙
- ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- ・糊などがついた用紙

■ プリンタの損傷の原因になる用紙

- ・カーボン紙
- ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙
  （裏面も使用できません。ただし、本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印刷した同一面に再度印刷することはできません。）

■ トナーが定着しにくい用紙

- ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- ・繊維の粗い用紙

印刷できる範囲

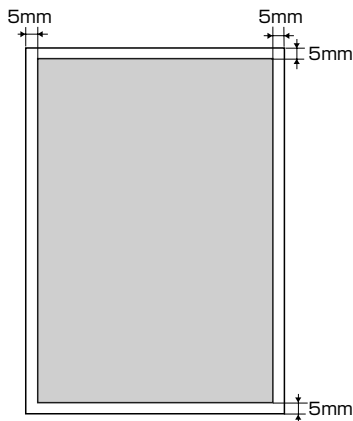
Point

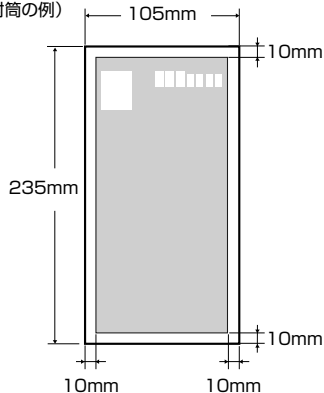
印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げる場合は、プリンタドライバで次の設定を行います。

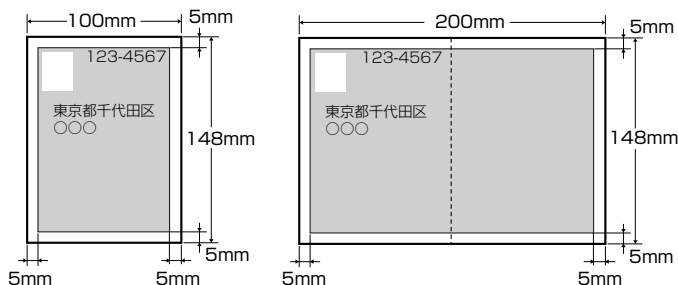
1.［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする
2.［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付ける

ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙

用紙の周囲5mmより内側の範囲に印刷できます。

■ 封筒

封筒の周囲10mmより内側の範囲に印刷できます。お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

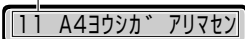
はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

Point

- はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印刷品質が得られないことがあります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。
- 封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［印字領域を広げて印刷する］にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11 A4ヨウシガ゛ アリマセン

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

用紙をセットするときは、プリンタが次のいずれかの状態のときに行ってください。

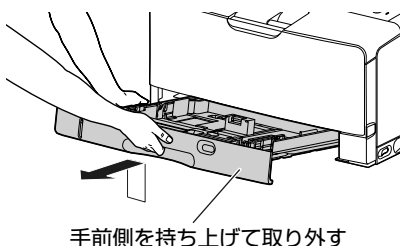
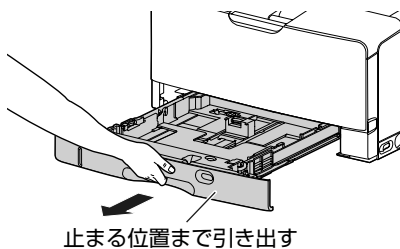
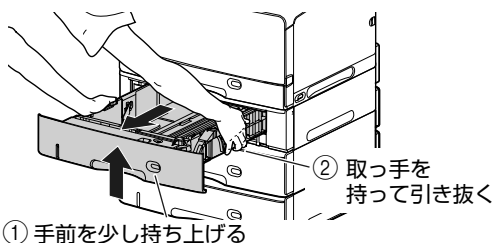
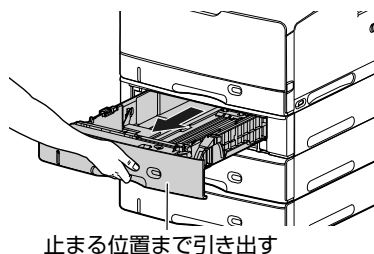
- ジョブランプが消灯しているとき
- プリンタの電源がオフのとき
- 用紙なしメッセージが表示されているとき

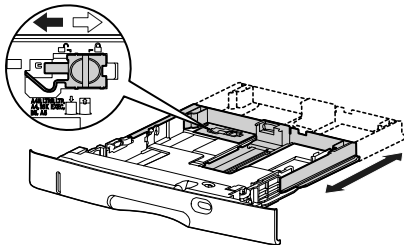
給紙カセットには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	積載枚数	
		カセット 1	カセット 2
普通紙(60～105g/m^2)	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5*、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙	約 250 枚 (64g/m^2 の場合)	約 500 枚 (64g/m^2 の場合)
厚紙(106 ～ 120g/m^2)			

*　ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。

※　**ユーザ設定用紙をセットして印刷する場合は、「ユーザ設定用紙（不定形用紙）に印刷する」（→ P.2-19）を参照してください。**

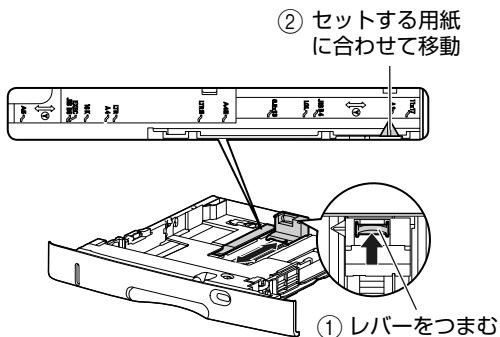
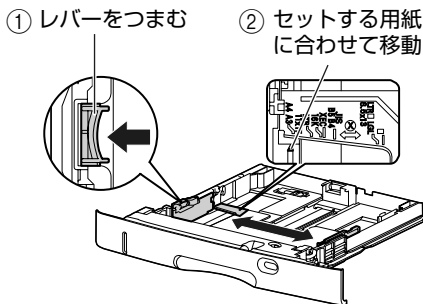
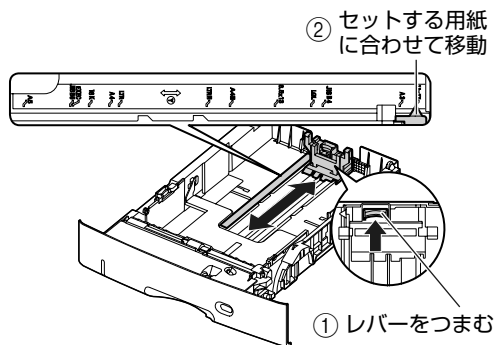
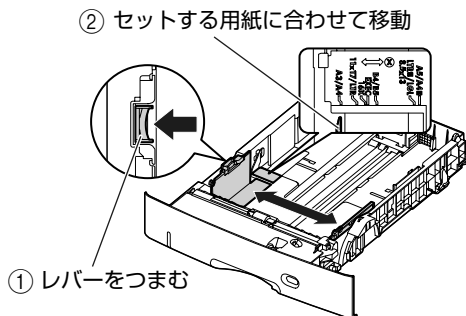
1 給紙カセットを引き出す

セットする用紙サイズを変更する場合

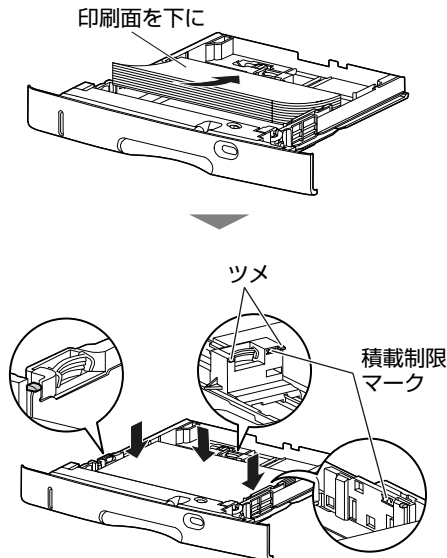
カセット1

A4、B5、A5、レター、エグゼクティブをセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。

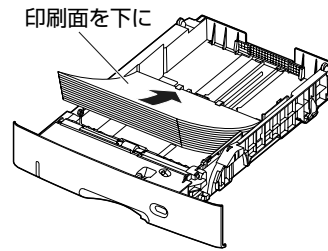
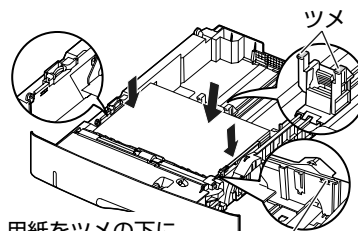
A3、B4、A4R、レター（11 x 17）、リーガル、レターR をセットする場合は、給紙カセットを引き出します。

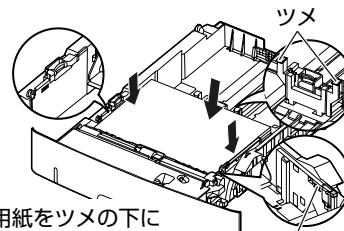
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを「🔓」に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを「🔒」に合わせてロックします。

カセット2、3、4

用紙のセットと印刷

用紙をセットする

カセット 1

① 用紙をツメの下に
② 積載制限マークを超えないように

カセット 2、3、4

■ 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG の場合

① 用紙をツメの下に
② 積載制限マークを超えないように

■ 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD の場合

① 用紙をツメの下に
② 積載制限マークを超えないように

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

用紙のセットと印刷

セットする用紙サイズを変更した場合

カセット 1

スイッチを合わせる

A3、B4、A4、A4R、B5、A5

レジャー（11×17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙

ダイヤルを合わせる

A4

カセット 2、3、4

スイッチを合わせる

A3、B4、A4、A4R、B5、A5

レジャー（11×17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ユーザ設定用紙

ダイヤルを合わせる

A4

3 給紙カセットをプリンタにセットする

カセット 1

斜めに差し込む

水平に押し込む

カセット 2、3、4

斜めに差し込む

水平に押し込む

以降の手順で、プリンタドライバの設定を行います。

ここでは Windows 2000/XP/Server2003/Vista 用 LIPS LX プリンタドライバ Version2.00 を例にします。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

Point

BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

印刷設定をする

Point

用紙のタイプは、次のように選択してください。

普通紙	60 ～ 105g/m²	［普通紙］
		［普通紙 L］*1
		［普通紙 H］*2
厚紙	106 ～ 120g/m²	［厚紙 L］
		［厚紙 H］*3

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［普通紙 H］に設定してください。

*3 ［厚紙 L］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してください。

印刷する

手差しトレイに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11 A4ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

手差しトレイには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	積載枚数
普通紙（60 ～ 105g/m^2）	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ設定用紙	約 100 枚 (64g/m^2 の場合)
厚紙（106 ～ 199g/m^2）		約 50 枚 （128g/m^2 の場合）
OHP フィルム	A4	約 50 枚
ラベル用紙	A4	約 40 枚
はがき	はがき、往復はがき、4 面はがき	約 25 枚
封筒	洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号 *	約 5 枚

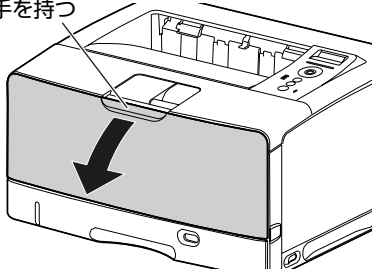
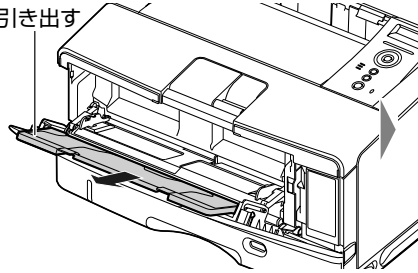
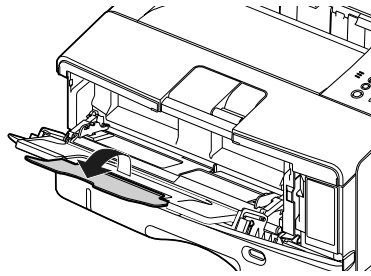
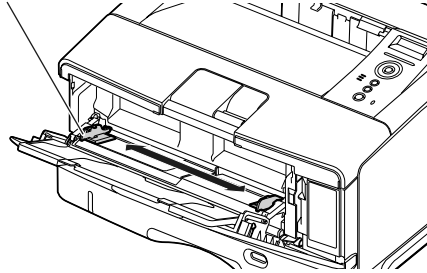
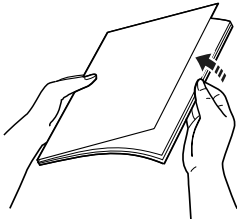
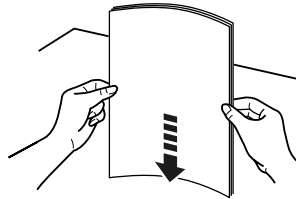
*　キヤノン LBP 専用封筒 K201-G/ 推奨品

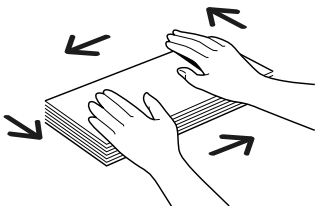
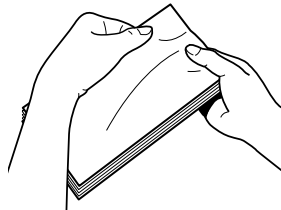
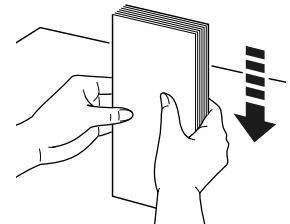
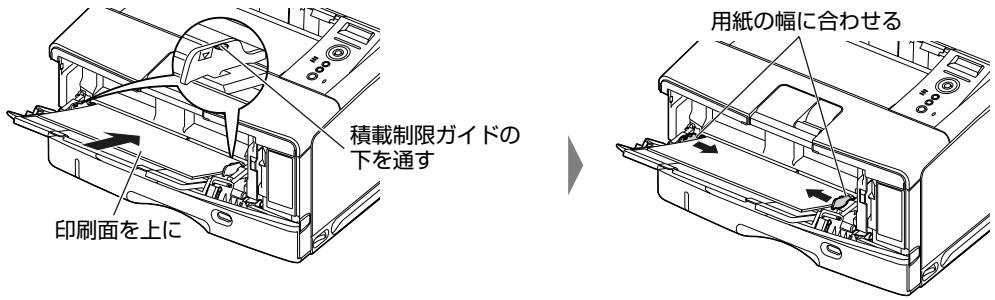
※　**ユーザ設定用紙については、「ユーザ設定用紙（不定形用紙）に印刷する」（→ P.2-19）を参照してください。**

● 紙の厚さについて

紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 = A4 サイズ 16 枚分

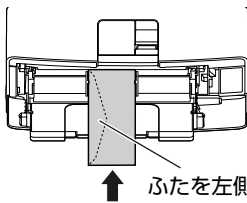
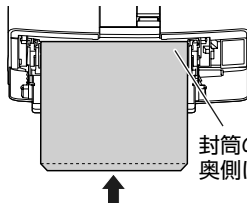
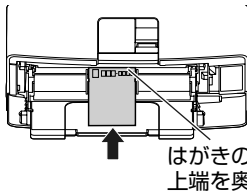
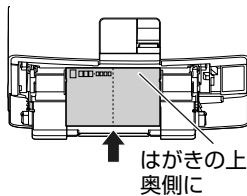
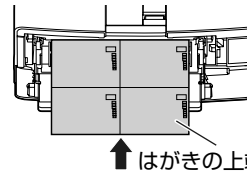
1 手差しトレイを開ける

取っ手を持つ

引き出す

A3 などの長いサイズの用紙をセットする場合

紙幅より少し広めに

■ OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合

少量ずつよくさばく

平らなところで軽く数回たたいて端を揃える

■ 封筒をセットする場合

封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにする

封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおす

封筒を平らな場所で揃える

用紙をセットする

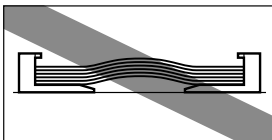
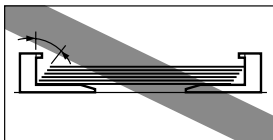
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

封筒やはがきをセットする場合

・封筒　洋形４号／洋形２号　　・封筒　角形２号

・はがき　　・往復はがき　　・４面はがき

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

用紙のセットと印刷

以降の手順で、セットした用紙サイズの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

③ 用紙サイズの設定を行う

1. セットアップ（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜ → カクチョウ キノウ →

2. ユーティリティ または セットアップ で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

3. OK を押します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

4. ユーティリティ または セットアップ で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

5. OK を押します。

=A4 →

6. ユーティリティ または セットアップ で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

B5 →

7. OK を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

=B5 →

以降の手順で、プリンタドライバの設定を行います。

ここでは Windows 2000/XP/Server2003/Vista 用 LIPS LX プリンタドライバ Version2.00 を例にします。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。

詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

印刷設定画面を表示する

印刷設定をする

用紙のタイプは、次のように選択してください。

普通紙	60 ～ 105g/m^2	[普通紙]
		[普通紙 L] *1
		[普通紙 H] *2
厚紙	106 ～ 199g/m^2	[厚紙 L]
		[厚紙 H] *3

OHP フィルム	[OHP フィルム]
ラベル用紙	[ラベル用紙]
封筒	[封筒]
はがき	[はがき]

*1 [普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、[普通紙 L] に設定してください。

*2 [普通紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[普通紙 H] に設定してください。

*3 [厚紙 L] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してください。

6 印刷する

印刷
プリンタ
名前(N): Canon LBP3910/3930 LIPSLX
プロパティ(P)
状態: 準備完了
モデル: Canon LBP3910/3930 LIPSLX
注釈とフォーム(M):
文書とスタンプ
印刷範囲
すべて(A)
現在の表示(V)
現在のページ(U)
ページ(G) 開始: 1 終了: 1
印刷(B): 範囲内のすべてのページ
逆順に印刷(E)
ページ処理
部数(C): 1
部単位で印刷(O)
ページの拡大 / 縮小(S): 大きいページを縮小
自動回転と中央配置(R)
PDF のページサイズに合わせて用紙を選択(Z)
ファイルへ出力(F)
プレビュー
209.97
296.93
単位: ミリ
ズーム: 100%
1/1 (1)
印刷のヒント(T)
詳細設定(D)
OK
クリックして、印刷を実行

ユーザ設定用紙（不定形用紙）に印刷する

本プリンタには次のユーザ設定用紙をセットすることができます。

標準の給紙カセット（カセット 1）
- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm*
  * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm になります。
- 横置きの場合(LIPS LXプリンタドライバ使用時のみ)：幅210.0～297.0mm、長さ148.0～297.0mm

ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、3、4）
- 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD をお使いの場合
  - 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
  - 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
- 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG をお使いの場合
  - 縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm
  - 横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm

手差しトレイ
- 縦置きの場合：幅 85.0 ～ 312.0mm、長さ 127.0 ～ 470.0mm
- 横置きの場合(LIPS LXプリンタドライバ使用時のみ)：幅127.0～312.0mm、長さ127.0～312.0mm

用紙のセットと印刷

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、次の操作を行ってください。

●ユーザ設定用紙を登録する（→ P.2-19）

●ユーザ設定用紙をセットする

- 給紙カセットにセットする場合（→ P.2-21）
- 手差しトレイにセットする場合（→ P.2-25）

●プリンタドライバを設定して、ユーザ設定用紙を印刷する（→ P.2-27）

ユーザ設定用紙の登録方法

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、あらかじめユーザ設定用紙のサイズをプリンタドライバに登録しておく必要があります。

プリンタドライバへの登録は、次の手順で行ってください。

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示する

Windows 98 **Windows Me** **Windows 2000**

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 ユーザ設定用紙を登録する

①本プリンタのアイコンを右クリックして、選択

②クリック

③クリック

④必要に応じて項目を設定

⑤クリック

⑥クリック

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ設定用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ設定用紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角 31 文字 / 全角 15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合は、半角 / 全角 31 文字まで入力できます。

［単位］：　ユーザ設定用紙のサイズを設定するときに使用する単位を選択します。

［用紙サイズ］：　ユーザ設定用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

給紙カセットにユーザ設定用紙をセットする

給紙カセットにユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

① 給紙カセットを引き出す

カセット１

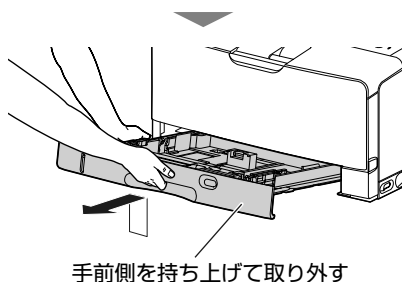
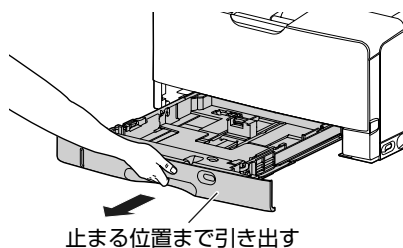
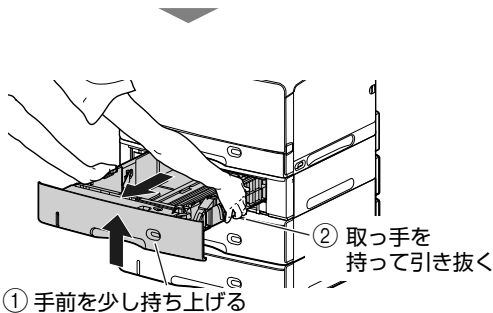
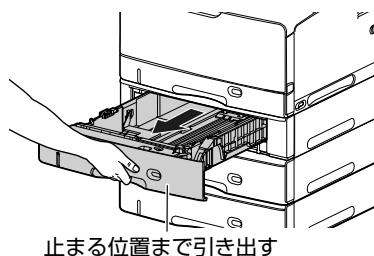
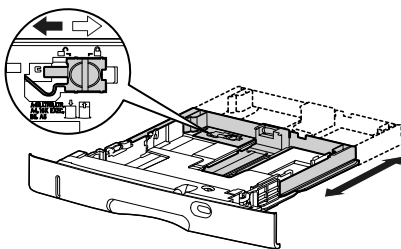
止まる位置まで引き出す

手前側を持ち上げて取り外す

カセット２、３、４

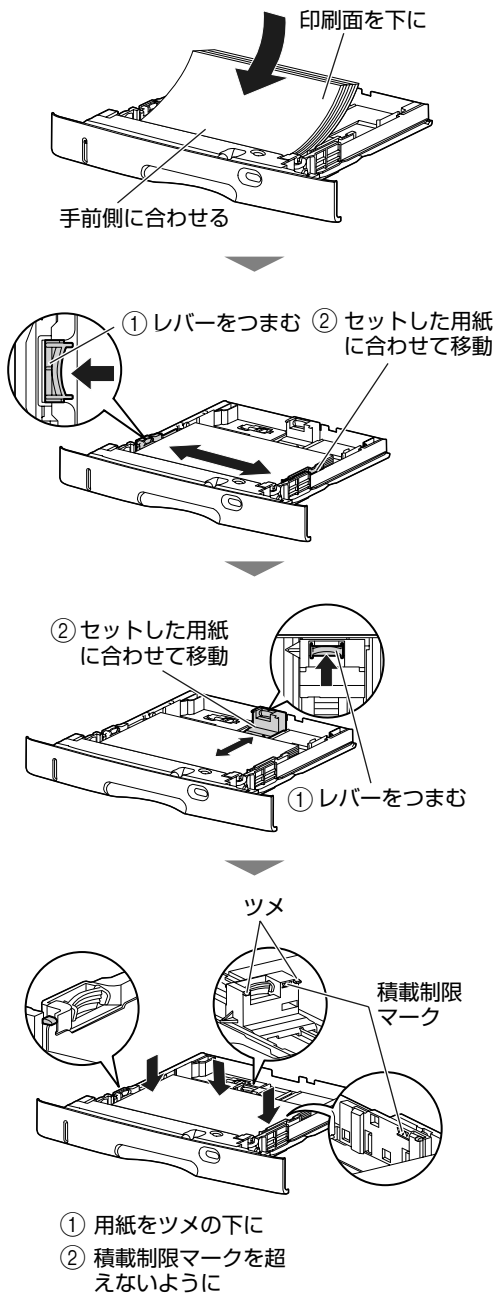
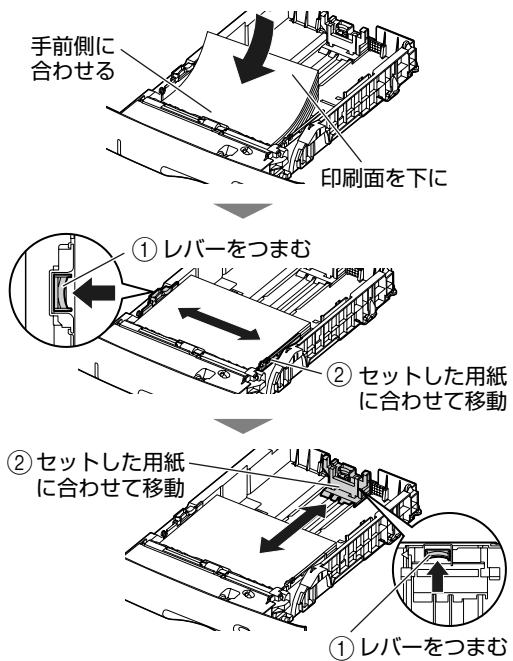
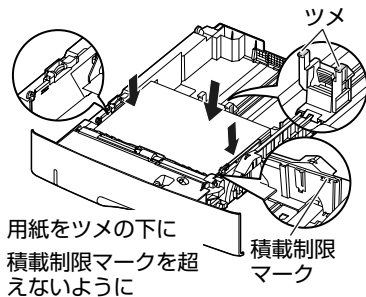
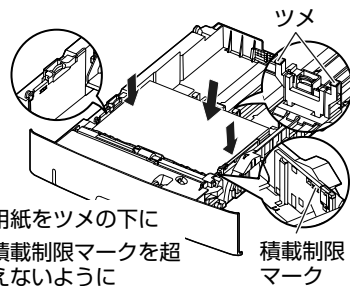
止まる位置まで引き出す

① 手前を少し持ち上げる

② 取っ手を持って引き抜く

カセット１に長さがA4(297.0mm)より大きいサイズをセットする場合

給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを「🔓」に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを「🔒」に合わせてロックします。

用紙のセットと印刷

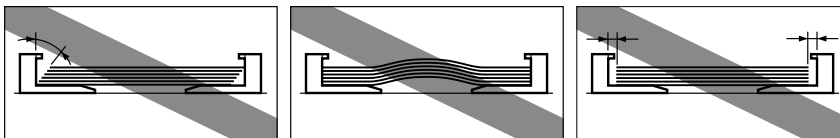
用紙をセットする

カセット 1

カセット2、3、4

■ 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG の場合

■ 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD の場合

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

Point

ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が297.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

③ 用紙サイズ設定スイッチと登録ダイヤルを「Custom」に合わせる

カセット1

スイッチを合わせる

ダイヤルを合わせる

「Custom」に合わせる

カセット2、3、4

スイッチを合わせる

ダイヤルを合わせる

「Custom」に合わせる

4 給紙カセットをプリンタにセットする

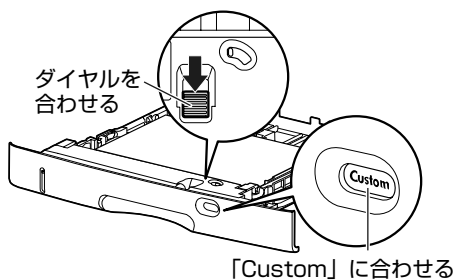
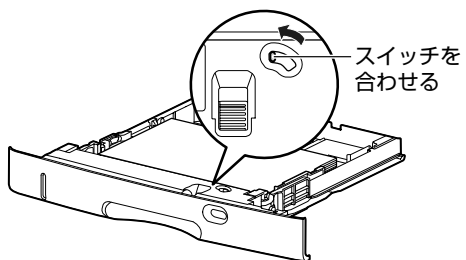
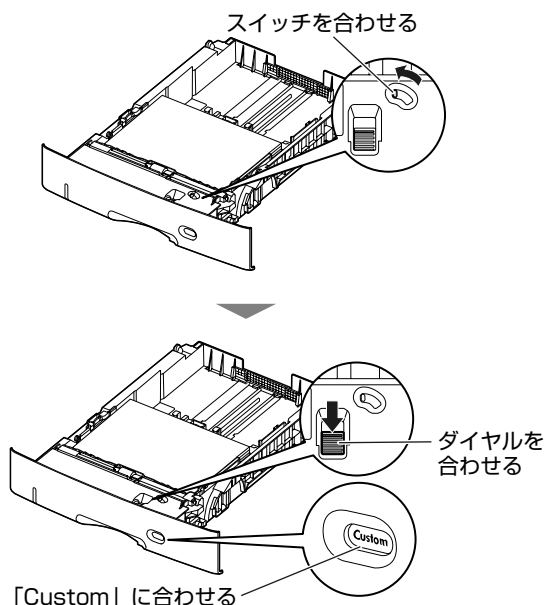
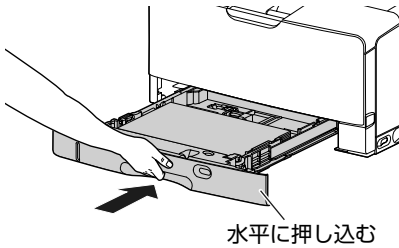
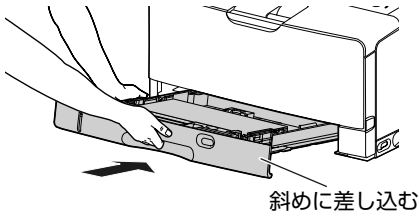
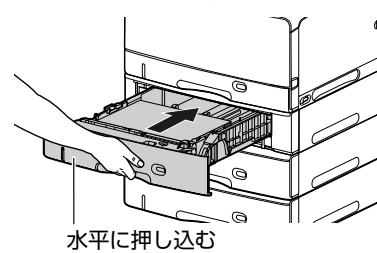
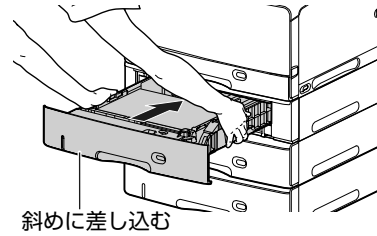
カセット 1

斜めに差し込む

水平に押し込む

カセット 2、3、4

斜めに差し込む

水平に押し込む

以降の手順で、セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。

5 用紙の置きかたを設定する

1. （セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ　キノウ →

2. ユーティリティ または セットアップ で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

3. OK を押します。

テサ゛シトレイ　ヨウシサイス゛→

4. ユーティリティ または セットアップ で「カセット N　ヨウシ　サイズ」（N=1、2、3、4）を選択します。

カセット2　ヨウシ　サイス゛ →

5. OK を押します。

=ユーサ゛セッテイサイス゛ →

6. ユーティリティ または セットアップ で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LXプリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズ R」を選択します。

ユーサ゛セッテイサイス゛R →

7. OK を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

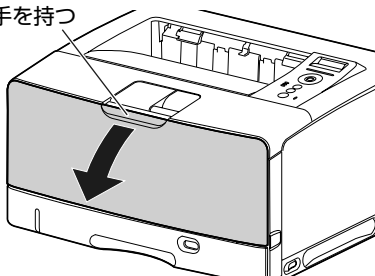
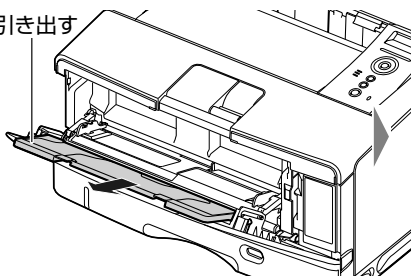
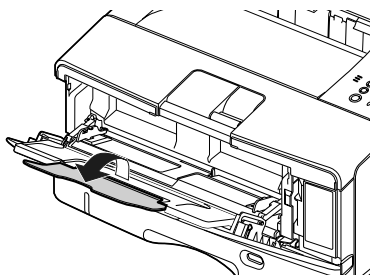
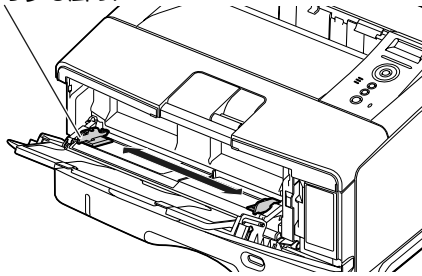
=ユーサ゛セッテイサイス゛R →

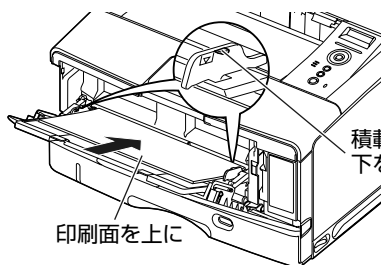
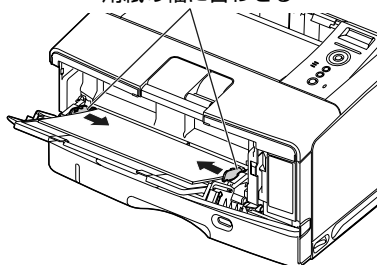
引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-27）。

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットする

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 手差しトレイを開ける

取っ手を持つ

引き出す

長いサイズの用紙をセットする場合

紙幅より少し広めに

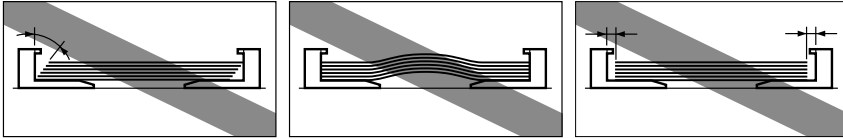
2 用紙をセットする

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-29）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

Point

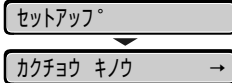
ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 312.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

用紙のセットと印刷

以降の手順で、セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。

3

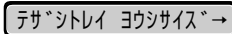
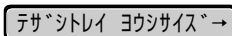
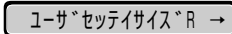
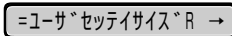
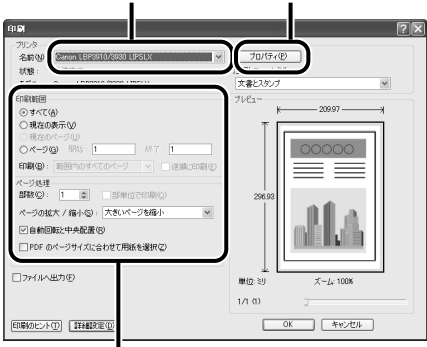
1. （セットアップ）を押します。
   セットアップメニューが表示されます。
   表示：セットアップ → カクチョウ キノウ →

2. （ユーティリティ）または（セットアップ）で「キュウシ」を選択します。
   表示：キュウシ →

3. （OK）を押します。
   表示：テザ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

4. （ユーティリティ）または（セットアップ）で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。
   表示：テザ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

5. （OK）を押します。
   表示：=A4 →

6. （ユーティリティ）または（セットアップ）で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。
   横置きにセットした場合（LIPS LXプリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズ R」を選択します。
   表示：ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

7. （OK）を押します。
   用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。
   表示：=ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-27）。

プリンタドライバの設定方法

ユーザ設定用紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

ここでは Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 用 LIPS LX プリンタドライバ Version2.00 を例にします。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 印刷設定画面を表示する

印刷設定をする

①クリック　②原稿のサイズを選択

③セットしたユーザ設定用紙のサイズを選択

④クリック　⑤使用するカセットを選択

⑥セットした用紙のタイプを選択　⑦クリック

Point

用紙のタイプは、次のように選択してください。

普通紙	60 ～ 105g/m^2	[普通紙]
		[普通紙 L] *1
		[普通紙 H] *2
厚紙	106 ～ 199g/m^2	[厚紙 L]
		[厚紙 H] *3

*1 [普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、[普通紙 L] に設定してください。

*2 [普通紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[普通紙 H] に設定してください。

*3 [厚紙 L] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してください。

印刷する

クリックして、印刷を実行

用紙のセットと印刷

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。
表中の➡は給紙方向を表しています。

	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合		A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターRサイズのように用紙を縦置きでセットする場合	
	縦レイアウト	横レイアウト	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1～4（片面印刷）				
カセット1～4（自動両面印刷）				
手差しトレイ（片面印刷）				
手差しトレイ（自動両面印刷）				
手差しトレイ（手動両面印刷）				

- 封筒、はがきの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（→ P.2-13）を参照してください。
- 手動両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

第３章

メンテナンス

トナーカートリッジの交換方法

「トナー　ヨウイ／カクニン」が表示されたときには

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 ﾄﾅｰ ﾖｳｲ	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 ﾄﾅｰ ｶｸﾆﾝ	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
9F ﾄﾅｰ ｶｸﾆﾝ	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
1G ﾄﾅｰ ｶｸﾆﾝ	トナーカートリッジが寿命になったとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジに交換してください

*　トナーが少なくなったときに「16　トナー　ヨウイ」と「16　トナー　カクニン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

Check!

印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「16　トナー　ヨウイ」や「16　トナー　カクニン」メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP3980/3930/3910	Cartridge 509

メンテナンス

● トナーカートリッジの寿命について

トナーカートリッジの平均印字可能枚数は次のようになっています。

· 交換用トナーカートリッジ：12,000 枚
· 本プリンタに付属のトナーカートリッジ：6,000 枚

平均印字可能枚数は、「ISO/IEC 19752」*に準拠し、A4 サイズの普通紙で、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

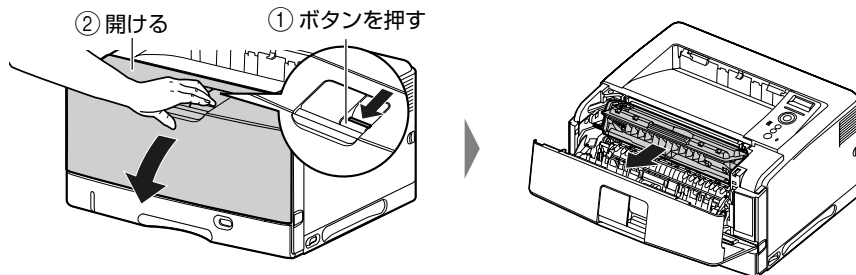
トナーカートリッジの寿命は、次のような条件に影響されます。

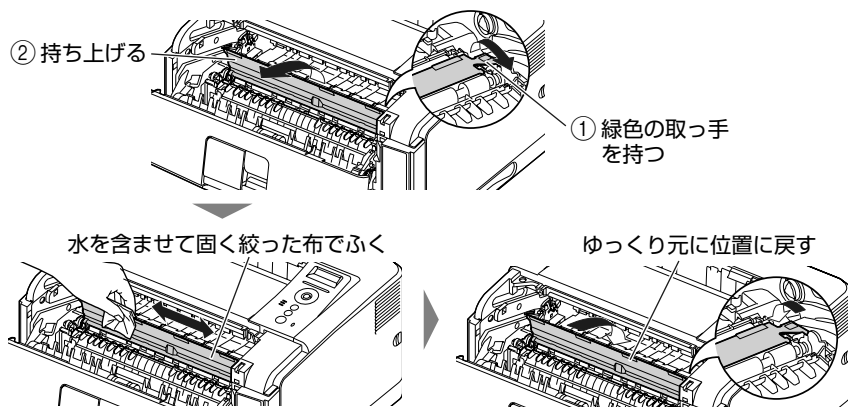
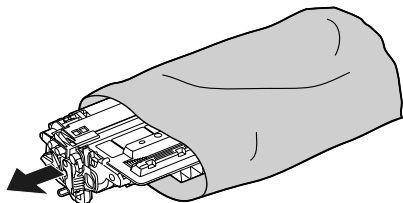
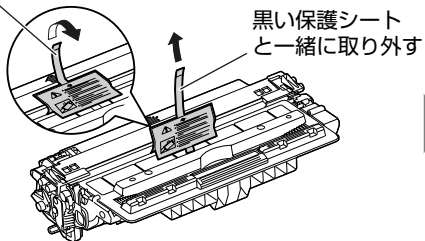
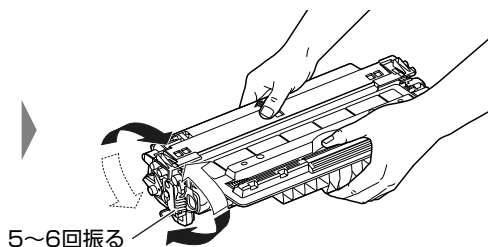
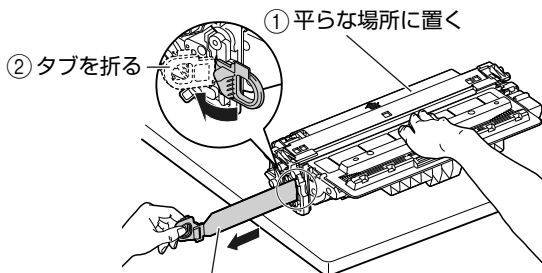
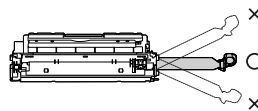
· 印刷環境／印刷条件
　間欠プリント（間隔をおいたプリント）
　用紙サイズや用紙タイプの設定
· 印字比率
　トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

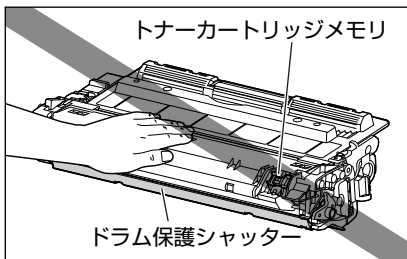
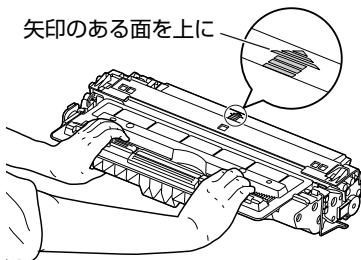
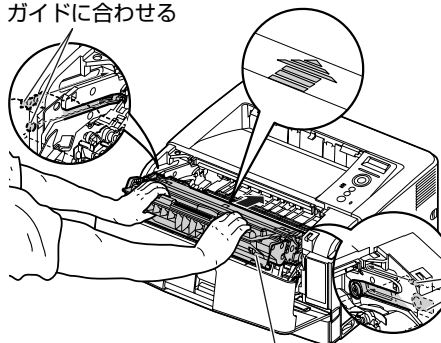
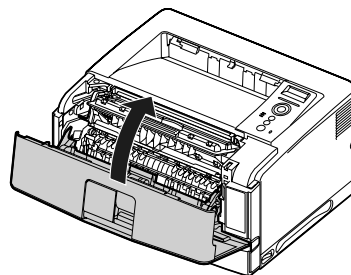
トナーカートリッジを交換する

次の手順で新品のトナーカートリッジに交換してください。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

メンテナンス

1 トナーカートリッジを取り出す

2 搬送ガイドを清掃する

③ 新しいトナーカートリッジを準備する

Point

シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリに触れたり、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

③ トナーカートリッジを取り付ける

Point

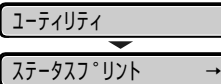
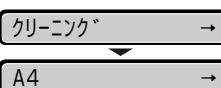
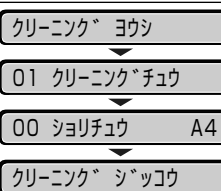
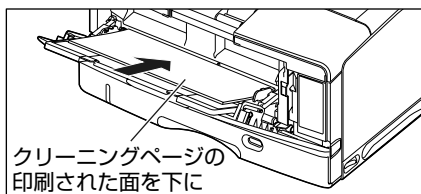
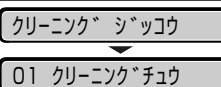
前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください)。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

メンテナンス

定着ローラの清掃

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

Point

- クリーニングの実行には、約 95 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。
- クリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行っても、印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、印刷したクリーニング用紙を使わずにA4またはレターサイズの白紙を手差しトレイにセットして、「クリーニング　ジッコウ」を再度行ってください。

印字濃度の調整

印刷結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次の操作でトナー濃度を調整します。
トナー濃度は、工場出荷時に（4）に設定されています。トナー濃度は 1 ～ 16 まで設定できます。

メンテナンス

第４章

トラブルの対処法

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド
はい
はい
プリンタの電源が入っていない
→ユーザーズガイド
“ステータスを取得できませんでした”が表示されている
プリンタがオフラインになっている
→ユーザーズガイド
ケーブルが正しく接続されていない
→ユーザーズガイド
いいえ
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→「給紙カセットに用紙をセットして印刷する」（P.2-7）
→「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（P.2-13）
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→「紙づまりが起こったときには」（P.4-4）
はい
“トナー　カクニン”が表示されている
→「トナーカートリッジの交換方法」（P.3-2）
エラーメッセージが表示されている
サービスコールが表示されている
→「「Ennn-nnnn」、「F9-nnチェックプリンタ」が表示されたときには」（P.4-12）
いいえ
その他のエラーメッセージが表示されている
→「メッセージ一覧」（P.4-13）
はい
プリンタのジョブランプが点滅したままになっている
前のジョブが残っていて印刷できない
→「印刷の中止」（P.1-5）
いいえ
印刷データを処理中です しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときには

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

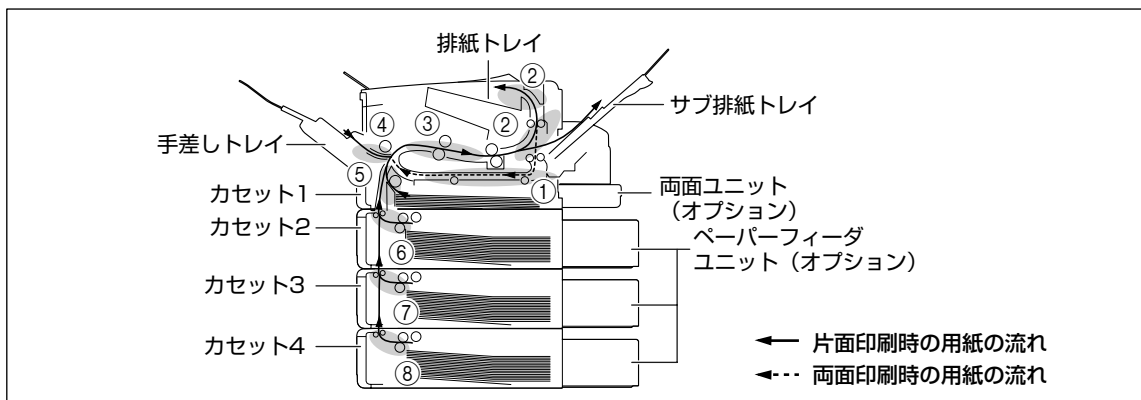
13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ

マエカハ゛ー エリア

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

紙づまりの位置

ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

紙づまりの位置		ディスプレイメッセージ
①	両面搬送部（両面ユニット装着時のみ）	リョウメンユニット　エリア
②	排紙トレイ、サブ排紙トレイ	サブハイシトレイ　エリア
③	前カバー内部	マエカバー　エリア
④	手差しトレイ	テザシトレイ　エリア
⑤	カセット 1	カセット1　エリア
⑥	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット２　エリア
⑦	カセット 3（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット３　エリア
⑧	カセット 4（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット４　エリア

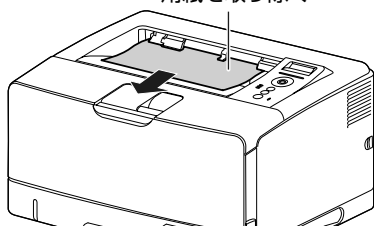
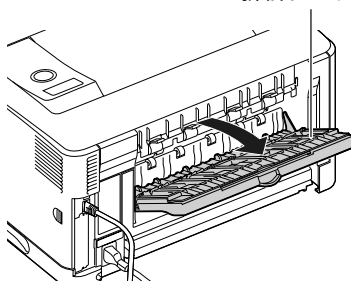
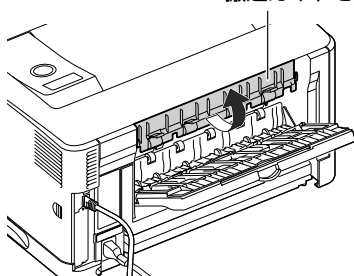
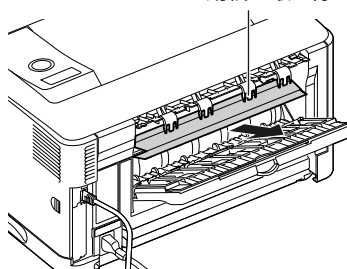
紙づまりの除去手順

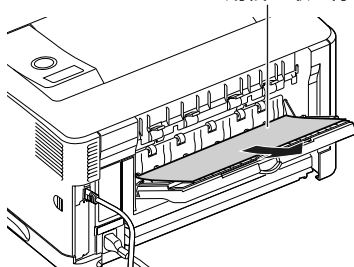
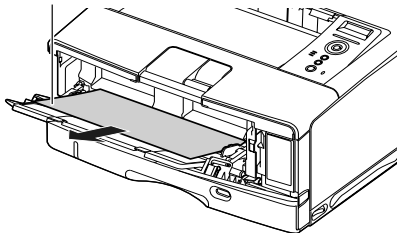
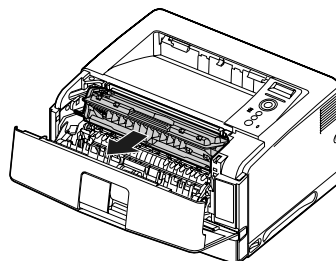
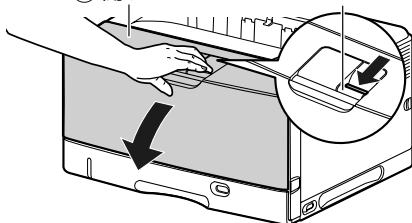
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

① 排紙先につまっている用紙を取り除く

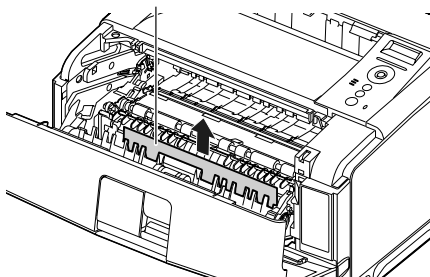
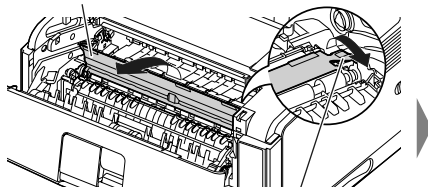
■ 排紙トレイを使用していた場合

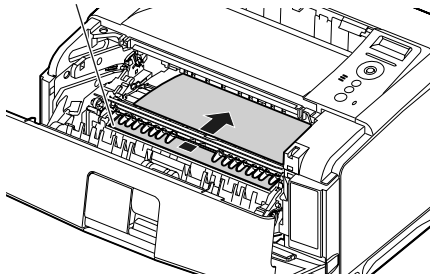
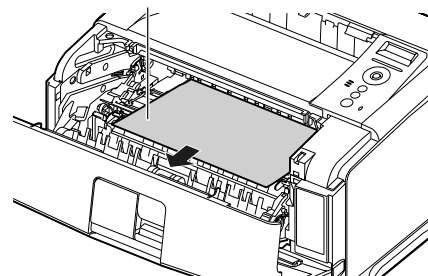
用紙を取り除く

サブ排紙トレイを開ける

搬送ガイドを開ける

用紙を取り除く

■ サブ排紙トレイを使用していた場合

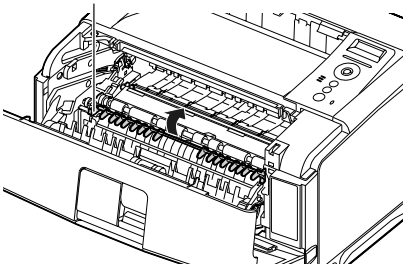
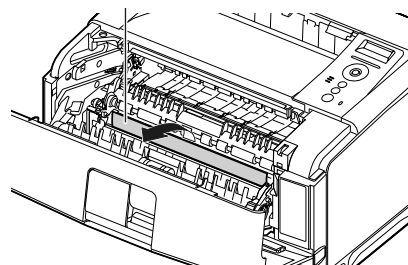
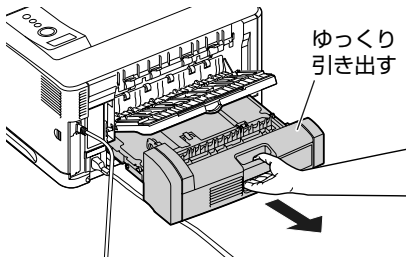
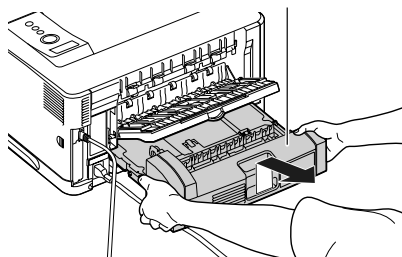
用紙を取り除く

② 手差しトレイにつまっている用紙を取り除く

③ トナーカートリッジを取り出す

Point

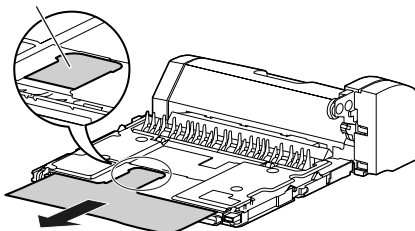
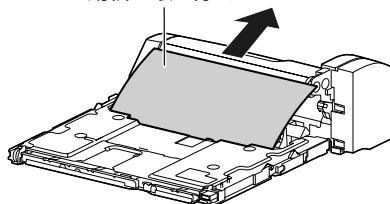
取り出したトナーカートリッジは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。

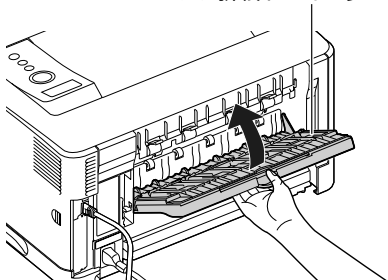
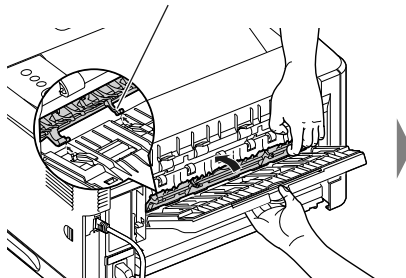
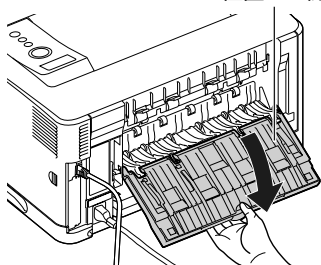
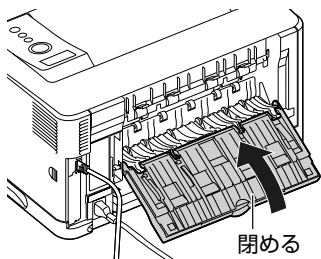
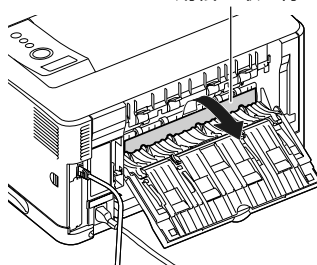
4 前カバー内側につまっている用紙を取り除く

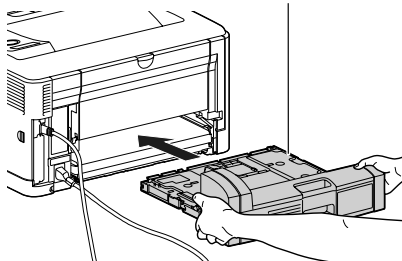
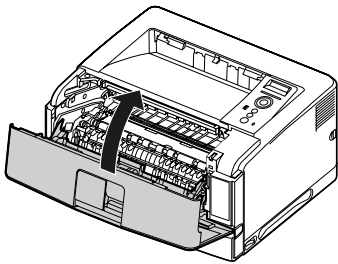
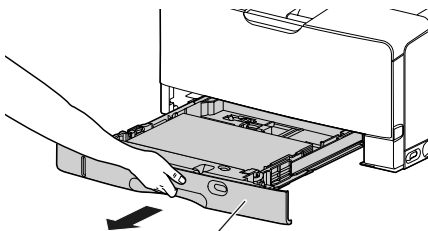
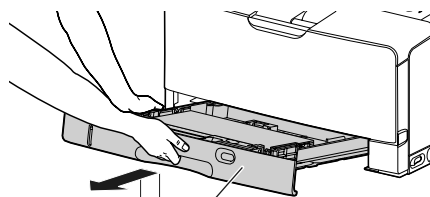
用紙を取り除く

② 持ち上げる

① 緑色の取っ手を持つ

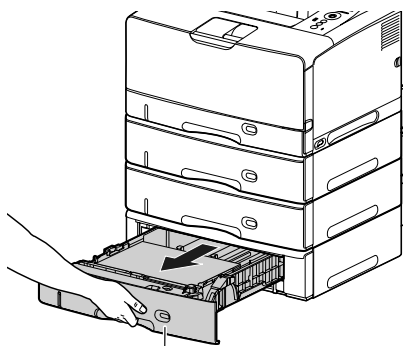
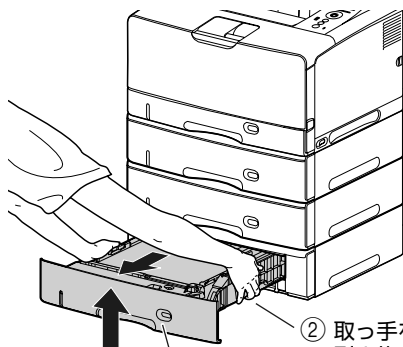
用紙の手前側を送り出す

用紙を取り除く

両面印刷をしていた場合

黒色の搬送ガイドを上げる

用紙を取り除く

5 両面ユニットを取り外す

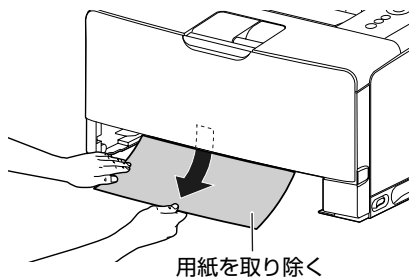
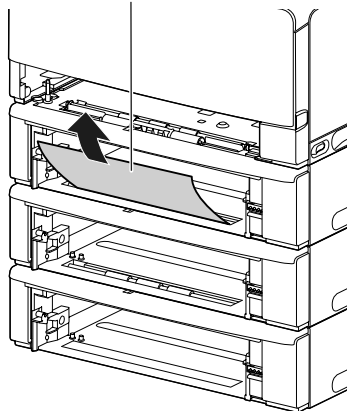
6 両面ユニットにつまっている用紙を取り除く

7 両面搬送路につまっている用紙を取り除く

サブ排紙トレイを少し持ち上げる

黒い搬送ガイドのフックを取り外す

この位置まで開ける

用紙を取り除く

閉める

両面ユニットを取り付ける

8 前カバーを閉める

9 給紙カセットを引き出す

止まる位置まで引き出す

手前側を持ち上げて取り外す

ペーパーフィーダを装着している場合

止まる位置まで引き出す

① 手前を少し持ち上げる

② 取っ手を持って引き抜く

⑩ つまっている用紙を取り除く

⑪ 給紙カセットをプリンタにセットする

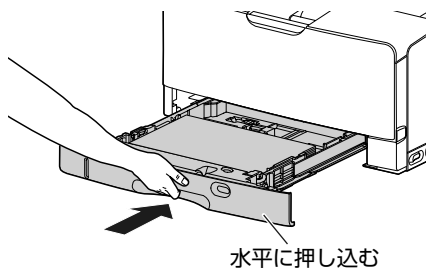
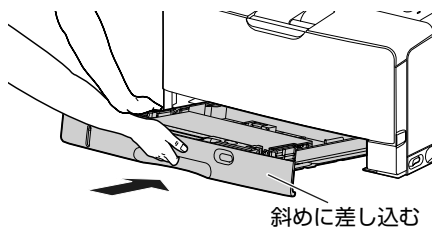
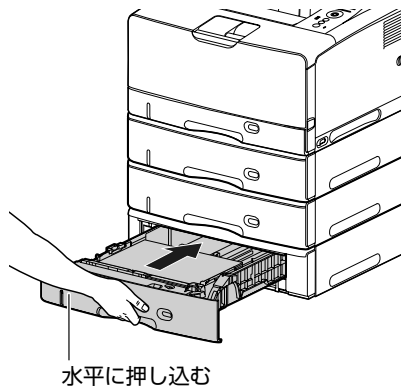
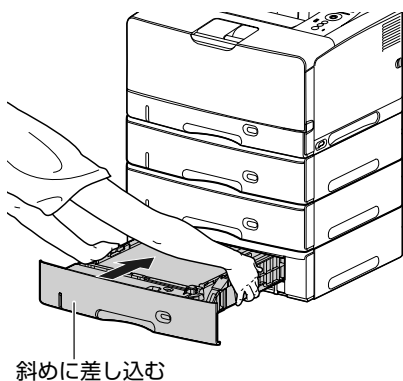
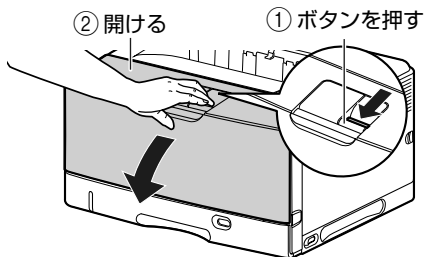
斜めに差し込む

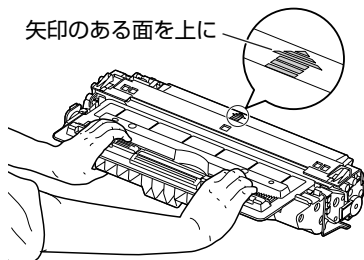
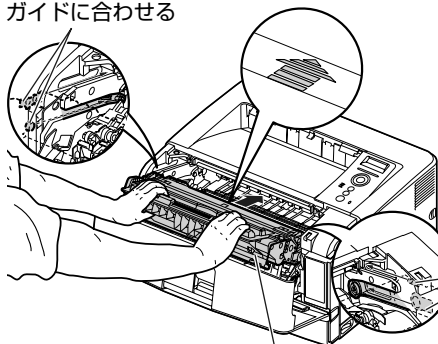
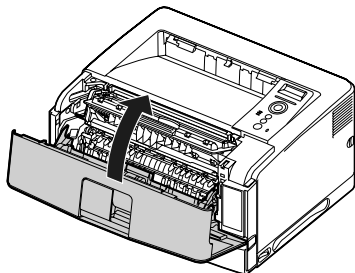
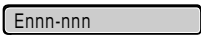
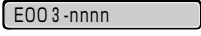
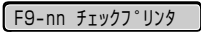
水平に押し込む

ペーパーフィーダを装着している場合

斜めに差し込む

水平に押し込む

トラブルの対処法

⑫ 前カバーを開ける

⑬ トナーカートリッジを取り付ける

トナーカートリッジを、保護袋や厚い布から取り出す

⑭ 前カバーを閉める

Point

前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

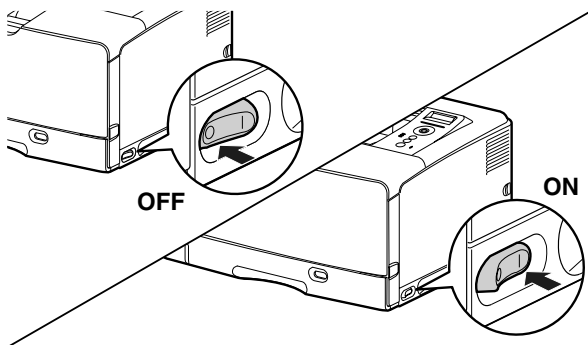
こんなメッセージが表示されたら

「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときには

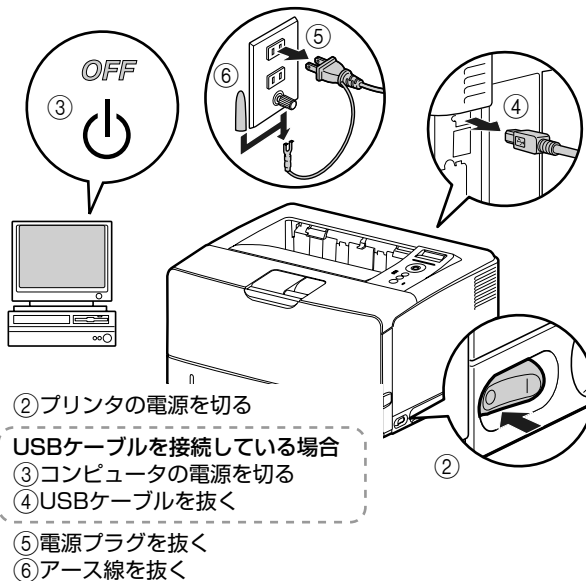
本プリンタの内部機構や印刷データ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn （n は英数字）	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 電源を入れなおす

電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。

再度メッセージが表示された場合は、手順 2 に進んでください。

トラブルの対処法

お買い求めの販売店にご連絡

お買い求めの販売店にご連絡

ご連絡の際には、症状および書きとめたコードナンバーをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（裏表紙）にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由で印刷が不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。

また、印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 警告メッセージ の付いているメッセージは、メッセージが表示されている場合（警告状態が発生している場合）でも、プリンタは停止しません。
- 自動エラースキップ可 のマークが付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続できますが、印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、［オンライン］を押して再度印刷しなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド第6章「メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
02　レイキャクチュウ	原因：連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた 処置：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。
0F　オプション　カクニン	原因：オプションのペーパーフィーダまたは両面ユニットが正しく取り付けられていない 処置：電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダまたは両面ユニットを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→オプションの設置：P.5-1）
0F　ヒタイオウ　オプション	原因：LBP3980/3930/3910 専用でないペーパーフィーダを装着している 処置：ディスプレイに表示されているペーパーフィーダを取り外してください。（→オプションの設置：P.5-1）
11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）	原因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置：用紙を補給またはセットしてください。
12　カバーガ　アイテイマス	原因：前カバーが開いている、またはサブ排紙トレイが図の位置まで開いている 処置：前カバーをしっかりと閉めます、またはサブ排紙トレイを図の位置まで閉じてください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因：内部で紙づまりを起こしている 処置：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりが起こったときには：P.4-4）
14　トナー　ミソウチャク	原因：トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置：トナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）

メッセージ	原因と処置
16 トナー　ヨウイ 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、[オンライン] を押してください。(→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2)
16　トナー　カクニン	原因：トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき 処置：[オンライン] を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、[オンライン] を押してください。(→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2)
18　カセット 1　ナシ	原因：カセット 1 がセットされていない 処置：カセット 1 をセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　カセット 2　ナシ	原因：カセット 2 がセットされていない 処置：カセット 2 をセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　カセット 3　ナシ	原因：カセット 3 がセットされていない 処置：カセット 3 をセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　カセット 2　ヨウシオーバー	原因：カセット 2 の用紙の積載制限を超えている 処置：カセット 2 の用紙を減らしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　カセット 3　ヨウシオーバー	原因：カセット 3 の用紙の積載制限を超えている 処置：カセット 3 の用紙を減らしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　カセット 4　ヨウシオーバー	原因：カセット 4 の用紙の積載制限を超えている 処置：カセット 4 の用紙を減らしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7)
18　キュウシ　エラー	原因：手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている 処置：給紙元を指定している場合は、[給紙選択] を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
1F　ハイシトレイ　フル	原因：排紙トレイが満載になった 処置：排紙トレイの用紙を取り除いてください。
1G　トナー　カクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが寿命に到達した 処置：トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。(→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2)
1H　トナーセツゾクカクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが正しく取り付けられていない可能性がある 処置：トナーカートリッジを取り出し、正しくセットしなおしてください。

メッセージ	原因と処置
23　ダウンロードメモリフル 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷します。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→ RAM/ROM：P.5-9）
26　システムメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。 ・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。（→ RAM/ROM：P.5-9）
27　ジョブカイシ　エラー 自動エラースキップ可	原因：指定したエミュレーションが存在しない 処置：本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。
30　メモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。
32　リョウメンインサツ　エラー 自動エラースキップ可	原因：自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面印刷可能な用紙サイズあるいは用紙タイプに変更して、印刷しなおします。
33　ワークメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：各動作モード専用のワークメモリが確保できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、印刷しなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。 ・LIPS LX プリンタドライバをご使用の場合は、オプションの拡張 RAM を取り付ける。ただし、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。（→ RAM/ROM：P.5-9）
35　トウロクテーブル　フル 自動エラースキップ可	原因：1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。
38　ガシツテイカ 自動エラースキップ可	原因：データが複雑すぎて処理できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
39　スプールメモリフル 自動エラースキップ可	原因：スプールメモリが不足したため、印刷できない 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

メッセージ	原因と処置
41　ヨウシサイズ　カクニン	原因：実際に手差しトレイにセットした用紙サイズと、コンピュータまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」の設定が違っている 処置：「手差しトレイ用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」） 原因：LIPS LX プリンタドライバを使用して、長辺が 312.0mm（給紙カセットの場合は、297.0mm）以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した 処置：横置きにセットして印刷しなおします。
52　イメージモード　エラー 自動エラースキップ可	原因：イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した 処置：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバで印刷しなおします。
53　セキュアプリント　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP3980/3930/3910 用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：リセットメニューでソフトリセットをして印刷データを削除します。
53　ホゾン　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP3980/3930/3910 用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
58　ジョブメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：ジョブを処理するための RAM の空き容量が不足している 処置：一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。
59　ジョブジュシンエラー 自動エラースキップ可	原因：ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。
60　カギカンリ　エラー 1 （LBP3980 のみ）	原因：鍵管理関係のファイルが壊れている 処置：次の操作を行います。 1. セットアップメニューのインタフェースグループで「標準ネットワーク」→「リモートUI 設定」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認する 2. プリンタを再起動し、リモートUI から鍵と証明書の再生成および SSL の設定を行う（→リモートUI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」） 3. 再度プリンタを再起動する
96　サブハイシトレイカクニン／シメテ　クダサイ	原因：自動両面印刷時にフェースアップで排紙しようとした 処置：サブ排紙トレイを閉めます。印刷が再開され、排紙トレイに排紙されます。
9F　トナー　カクニン 警告メッセージ	原因：一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある 処置：トナーカートリッジに問題がないか確認してください。
A4　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A7　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因と処置
D0　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因**：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置**：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	**原因**：分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした **処置**：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	**原因**：リプロットバッファがオーバーフローした **処置**：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	**原因**：ポリゴンバッファがオーバーフローした **処置**：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　のポリゴンバッファに保存するデータ数を 49000 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D8　レイアウト　エラー	**原因**：メモリ不足によりページをレイアウトできない **処置**：LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	**原因**：LBP3980/3930/3910 用でないプリンタドライバから印刷した **処置**：LBP3980/3930/3910 用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	**原因**：LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた **処置**：［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。
D8　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因**：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置**：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9　IMG　データ　エラー	**原因**：TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている **処置**：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　IMG　サンショウ　エラー	**原因**：TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている **処置**：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因**：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置**：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
ES　CIS センサ　カクニン	**原因**：印字位置が正しく補正されていない可能性がある **処置**：両面ユニットをセットしなおしてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、新しい両面ユニットに交換することをおすすめします。（→両面ユニット：P.5-7）

メッセージ	原因と処置
F2　フォント　ミジッソウ 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた 処置：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。
F9-nn　チェック　プリンタ （nn は 2 桁の英数字）	原因：印刷データ処理中にトラブルが発生した 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
FF　フォント　フル 自動エラースキップ可	原因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。
FM　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
FM　ザヒョウテン　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン （XXX は用紙サイズ略号）	原因：アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている 処置：選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7）

正しく印刷できないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第 6 章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字が印刷される	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows から印刷した	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。(→ LIPS ソフトウェアガイド「第 2 章 Windows から印刷するには」) ※付属の CD-ROM に Windows 98/Me 用プリンタドライバは同梱されておりません。Windows 98/Me に対応したプリンタドライバは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。LBP3980 は Windows 98/Me に対応しておりません。
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。(→LIPS ソフトウェアガイド「第 4 章 DOS から印刷するには」)
	コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、コンピュータと接続しているインタフェースに固定して印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」)
指定した書体と違う書体で印字される	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。(→プリンタドライバのヘルプ)
白紙のページが印刷されない	LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている	白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。(→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」)
最後のページが印刷できない	コンピュータからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。(→印刷の中止：P.1-5)

症状	原因	処置
データが用紙をはみだした	LIPS LX プリンタドライバを使用して、長辺が 312.0mm（給紙カセットの場合は、297.0mm）以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第４章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲　5mm（封筒は 10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックマークを付けると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
	ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第５章「印字位置を調整する」）
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド第５章「印字位置を調整する」）
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。（→ユーザーズガイド第３章「動作モードについて」）

症状	原因	処置
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
縮小されて印刷される	縮小印刷の設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。（→ LIPS ソフトウェアガイド）
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の種類によっては、しわがよることがある	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループで、「うねり特殊処理」を「スル」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	薄手の用紙を使用している	プリンタドライバで [用紙タイプ] を[普通紙 L] に設定します。[用紙タイプ] の設定は、[給紙] ページで行います。
	カールしやすい用紙を排紙トレイに排紙している	カールしやすい OHP フィルムや封筒などに印字するときは、サブ排紙トレイに切り替えます。（→ユーザーズガイド第 4 章「排紙先について」）

症状	原因	処置
用紙が真っ白で何も印刷されない	シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした	トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
	用紙が重なって送られた	給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
印刷した OHP フィルムに白い粉がつく	OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した	OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。
白いすじが入る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
印字が全体的にうすい	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
印字が全体的に黒ずむ	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。
印字ムラが出る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）

症状	原因	処置
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する	定着ローラが汚れている	定着ローラを清掃してください。（→定着ローラの清掃：P.3-6）
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
		プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲　5mm（封筒は10mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックマークを付けると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
用紙全面が真っ黒に印刷される	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）
定着性が悪い	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する	トナーカートリッジを交換した、または印刷を長期間行わなかった	セットアップメニューのメンテナンスグループで、「特殊印字モード A」を「モード 2」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」） 「モード 2」に設定しても問題が解決しない場合は、「モード 3」に設定してください。 「モード 3」に設定しても問題が解決しない場合は、「モード 4」に設定してください。
	用紙の種類や使用環境によっては、すじ状の汚れが付着することがある	未開封の新しい用紙に交換してください。（→用紙について：P.2-2）

プリンタが動作しない・印刷できないときには

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、以下の確認を行ってください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第6章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

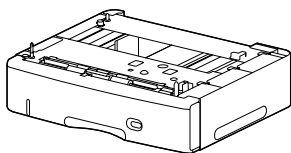
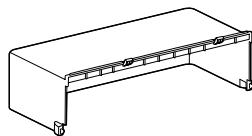
症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→ユーザーズガイド第3章「オンラインとオフライン」）
	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止：P.1-5）
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをコンピュータおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→ユーザーズガイド「第2章 プリンタの設置」）
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→こんなメッセージが表示されたら：P.4-12）
印刷が途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止：P.1-5）
操作パネルのランプがつかない	電源がオンになっていない	電源をオンにしてください。
	スリープモードになっている	印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→印刷の中止：P.1-5）
	キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キーロック　チュウ」と表示される）	リモートUIからキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

症状	原因	処置
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」）
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
印刷するたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-7、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-13）
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	LIPS LX プリンタドライバを使用して、長辺が 312.0mm（給紙カセットの場合は、297.0mm）以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。（→紙づまりが起こったときには：P.4-4）

第５章

オプションの設置

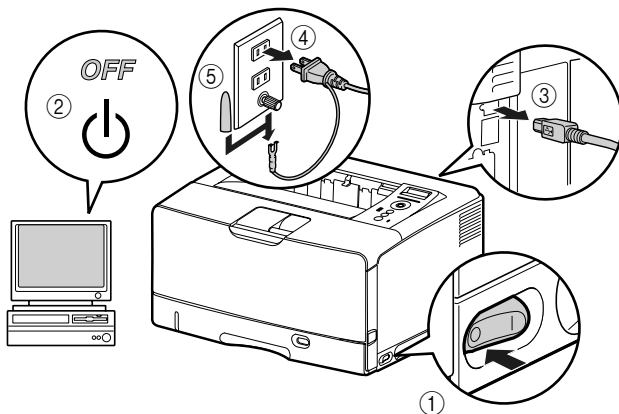
ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

Point

- ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。
  オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。
- ペーパーフィーダユニット PF-67G は、LBP3980/3970/3950/3930/3920/3910/3900/3500 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダユニット PF-67/PF-67D は LBP3980/3930/3910 では使用できません。

プリンタを移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外す

①プリンタの電源を切る

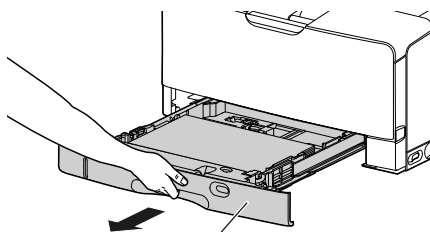
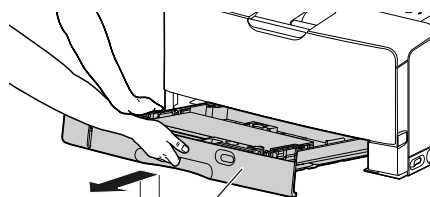
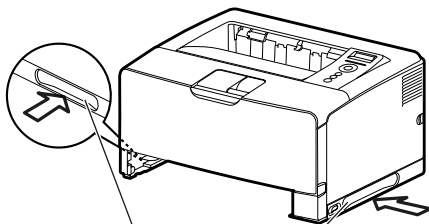
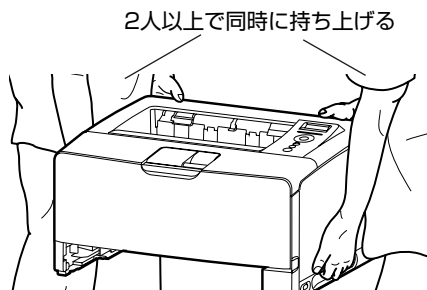
USB ケーブルを接続している場合
②コンピュータの電源を切る
③USB ケーブルを抜く

④電源プラグを抜く
⑤アース線を抜く

※ LBP3980 をお使いの場合、プリンタのシャットダウンを行ってから電源を切ることをおすすめします。
WSD を使用している場合、シャットダウンを行うことで、プリンタの電源がオフになったことをパソコンに通知します。詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

電源コードをプリンタから取り外す

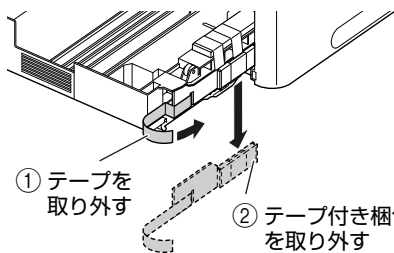
LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを抜く

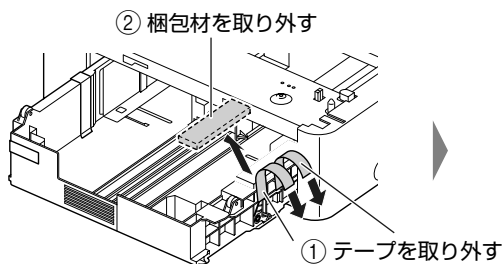
② プリンタを設置場所から移動する

止まる位置まで引き出す

手前側を持ち上げて取り外す

取っ手に手を掛ける

2人以上で同時に持ち上げる

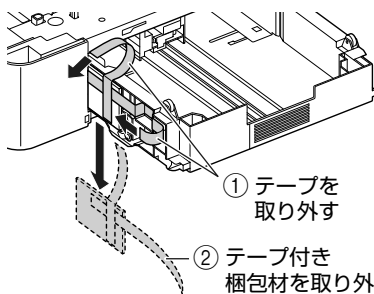
梱包材を取り外して、ペーパーフィーダを取り付ける

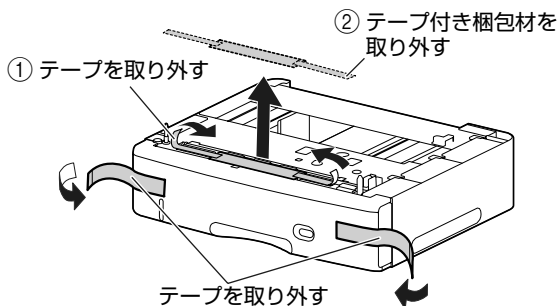
ペーパーフィーダは、プリンタの底面に取り付けます。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

① ペーパーフィーダの梱包材を取り外す

① テープを取り外す

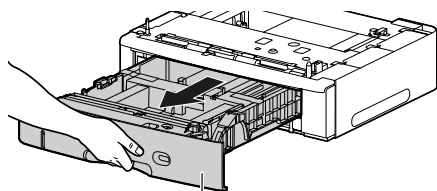
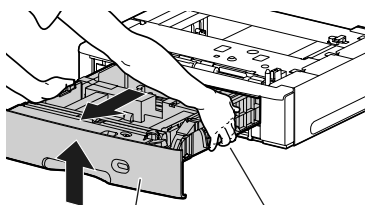
② テープ付き梱包材を取り外す

② 梱包材を取り外す

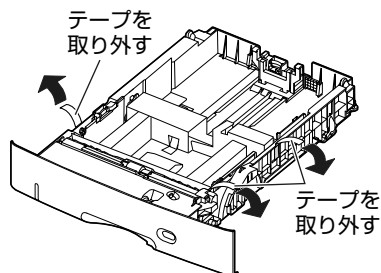
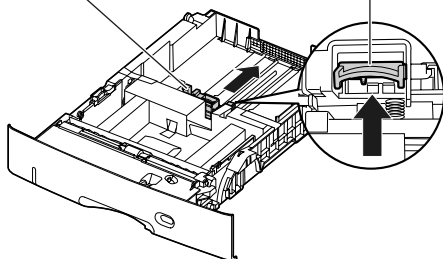
① テープを取り外す

① テープを取り外す

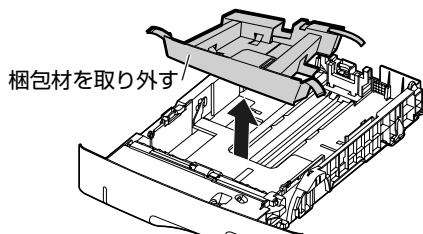
② テープ付き梱包材を取り外す

② テープ付き梱包材を取り外す

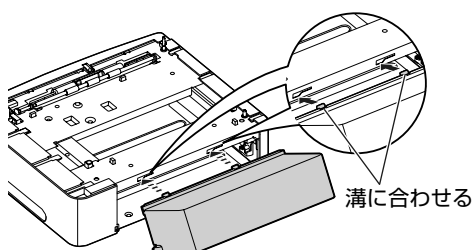
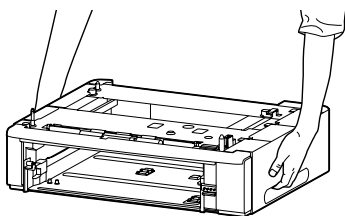
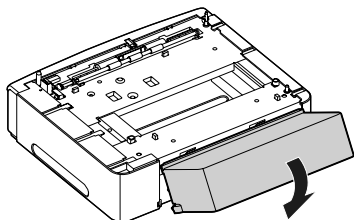
① テープを取り外す

テープを取り外す

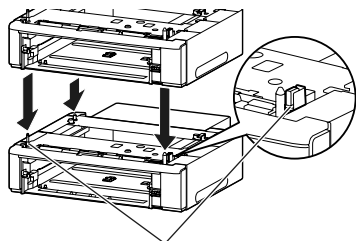
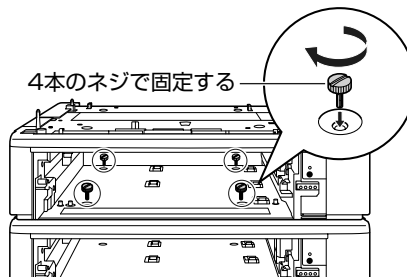
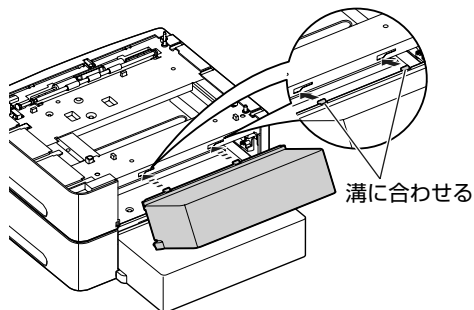
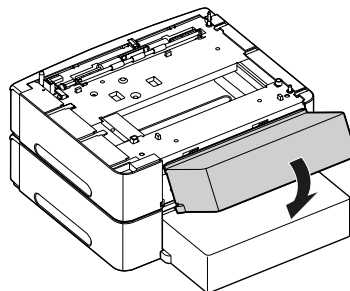
② 給紙カセットの梱包材を取り外す

止まる位置まで引き出す

① 手前を少し持ち上げる　② 取っ手を持って引き抜く

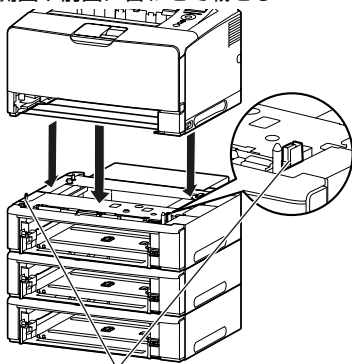
② 用紙ガイドを移動　① レバーをつまむ

テープを取り外す

テープを取り外す

梱包材を取り外す

③ ペーパーフィーダを設置場所に置き、カセット保護カバーを取り付ける

Point

ペーパーフィーダのカセット保護カバーは1段装着するごとに取り付けてください。

ペーパーフィーダを 2 台以上取り付ける場合

Point

ペーパーフィーダを取り付けるとネジが 4 本あまりますが、なくした場合に必要になるので、大切に保管しておいてください。

④ ペーパーフィーダを取り付ける

給紙カセットをプリンタ、ペーパーフィーダにセットする

ケーブルを接続する

必要に応じて、LAN ケーブルを接続する

▼

電源コードをプリンタに接続する

▼

アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続する

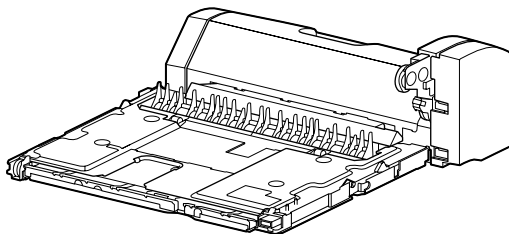
▼

必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続する

Point

ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

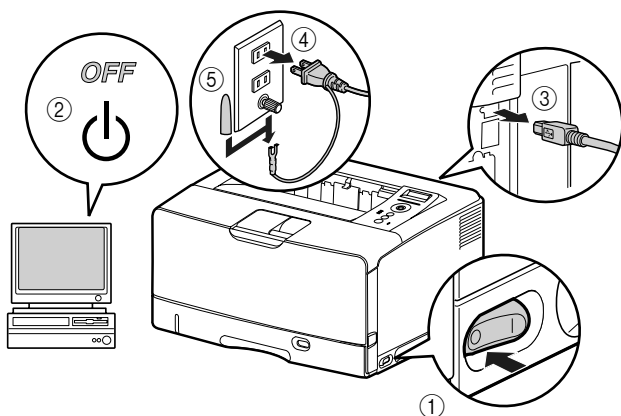
両面ユニット

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けて使用します。

両面ユニットDU-67

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。

*　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外す

OFF

① プリンタの電源を切る

USB ケーブルを接続している場合
② コンピュータの電源を切る
③USB ケーブルを抜く

④ 電源プラグを抜く

⑤ アース線を抜く

※ LBP3980 をお使いの場合、プリンタのシャットダウンを行ってから電源を切ることをおすすめします。
WSD を使用している場合、シャットダウンを行うことで、プリンタの電源がオフになったこと をパソ コンに通知します。詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

電源コードをプリンタから取り外す

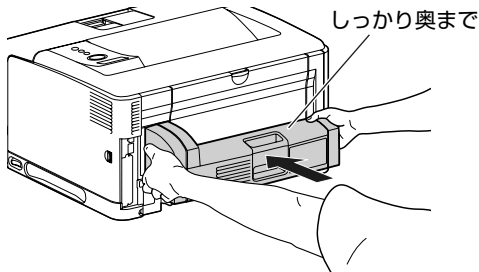
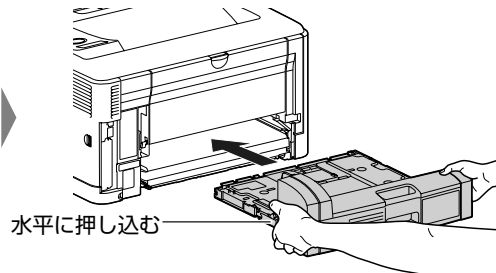
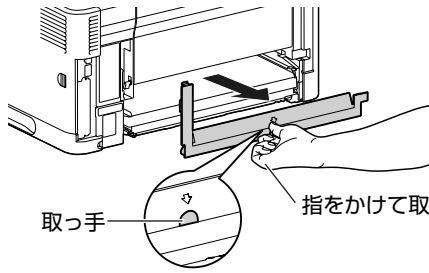
LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを抜く

② 両面ユニットを取り付ける

取っ手

指をかけて取り外す

水平に押し込む

しっかり奥まで

Check!

両面ユニットが確実に取り付けられていないと（プリンタ背面と両面ユニットの間に隙間が空いていると）、給紙不良の原因になります。

③ ケーブルを接続する

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ右側のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

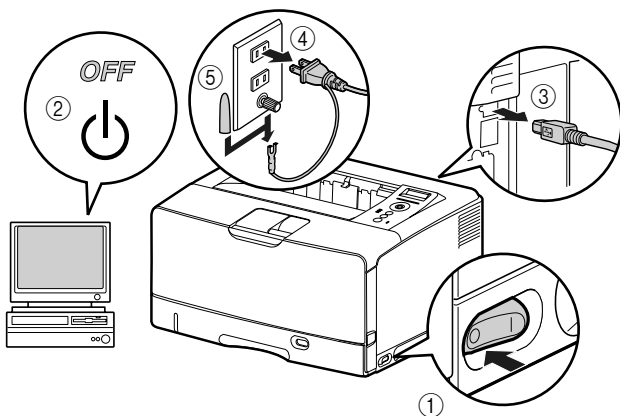
RAM/ROM を取り付ける

RAM と ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

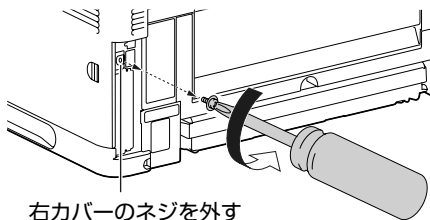
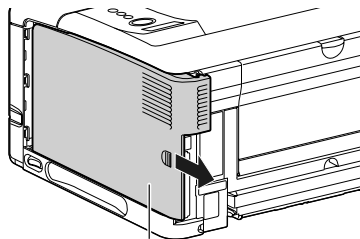
Point

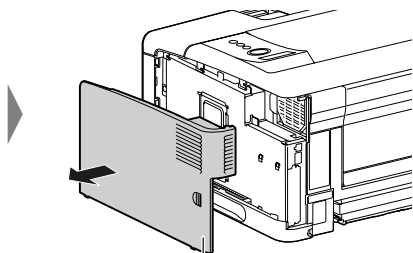
- RAM や ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。
- コントロール ROM は、必ず本プリンタに対応した次のものをご使用ください。
  - · LBP3980 をお使いの場合：CR-MEV
  - · LBP3930/3910 をお使いの場合：CR-MEU
- LBP3930/3910 でコントロール ROM（CR-MEU）を使用する場合は、オプションの拡張 RAM が必要です。次のいずれかの拡張 RAM を増設してください。
  - · 64MB（RD-64MR）
  - · 128MB（RD-128MR）
  - · 256MB（RD-256MR）

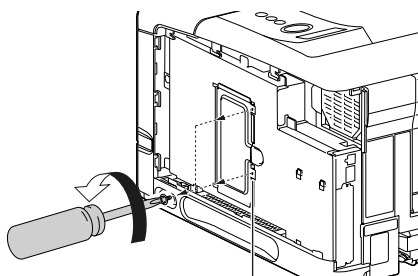
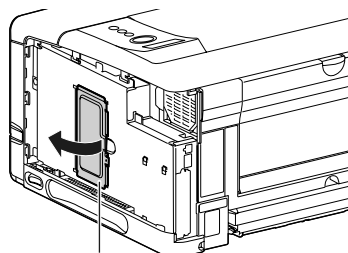
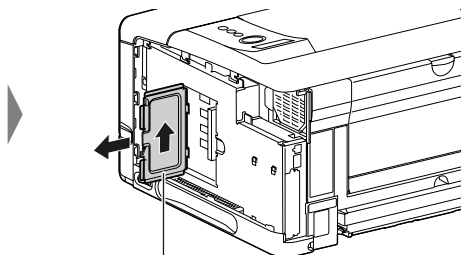
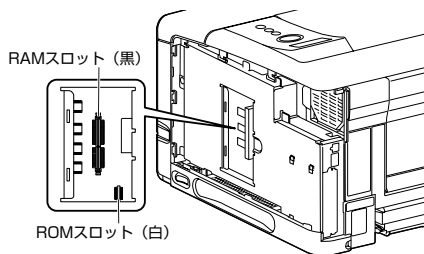
  LBP3980 でコントロール ROM（CR-MEV）を使用する場合は、オプションの拡張 RAM の増設は必要ありません。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外す

電源コードをプリンタから取り外す

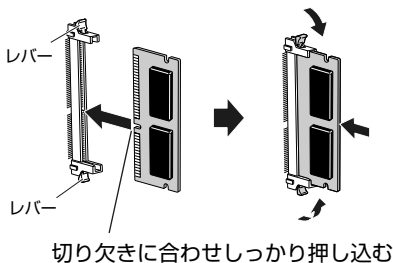
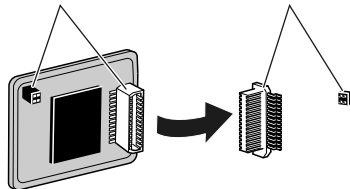
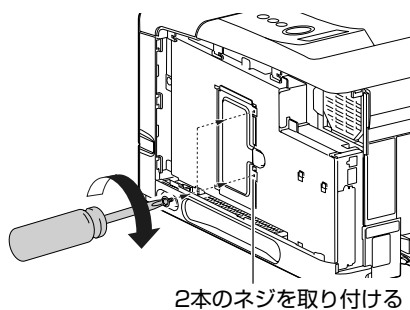
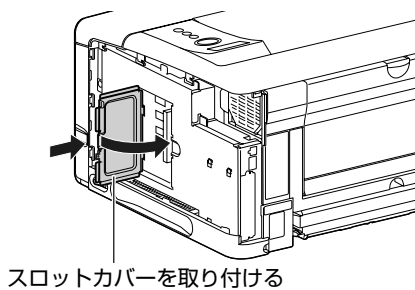
LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを抜く

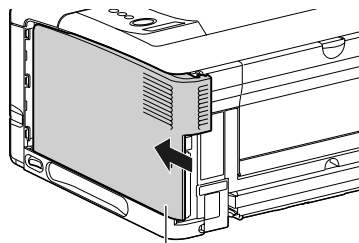
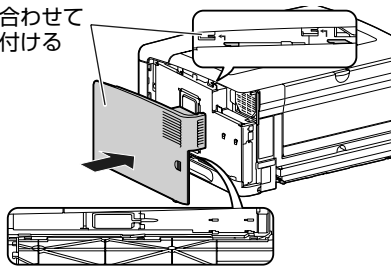
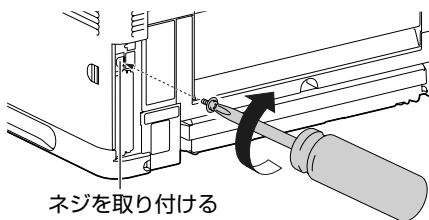
オプションの設置

② 右カバーを取り外す

右カバーのネジを外す

スライドさせる

取り外す

③ スロットカバーを取り外す

スロットカバーのネジを外す

スロットカバーを開ける

少し持ち上げて取り外す

RAM や ROM を取り付ける

RAM や ROM の取り付ける位置は上記のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM や ROM を取り付けてください。

■RAM を取り付ける場合

■ROM を取り付ける場合

5 スロットカバーを取り付ける

❻ 右カバーを取り付ける

溝に合わせて
取り付ける

右カバーをスライドさせる

ネジを取り付ける

❼ ケーブルを接続する

必要に応じて、LAN ケーブルを接続する

▼

電源コードをプリンタに接続する

▼

アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続する

▼

必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続する

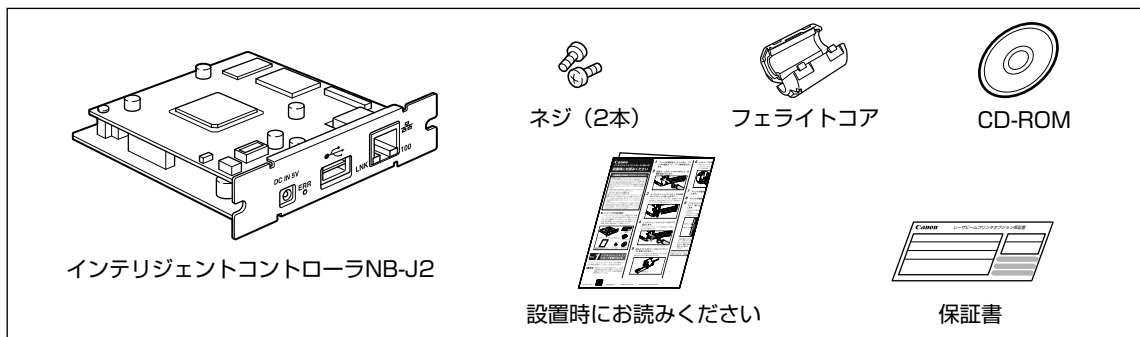
RAM/ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM　→　必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロール ROM　→　メニュー機能で設定します。

インテリジェントコントローラ NB-J2

NB-J2 はプリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

Check!

NB-J2 とプリンタに標準装備されているネットワークインタフェース（標準ネットワーク）の 2 つのインタフェースを同時に使用することはできません。
使用するインタフェースの選択は、セットアップメニューのインタフェースグループにある「拡張カード」の「優先ネットワーク設定」で設定します。詳しくは、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 SMS を使用する」を参照してください。

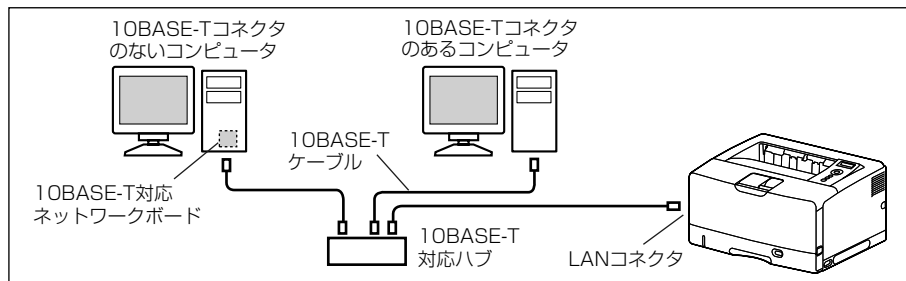
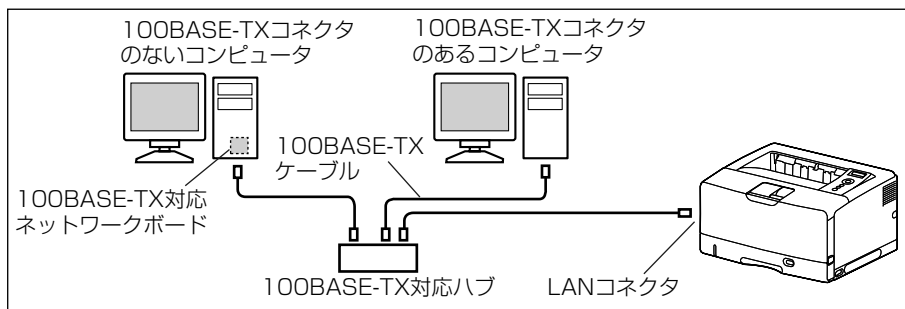
ケーブルを用意する

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

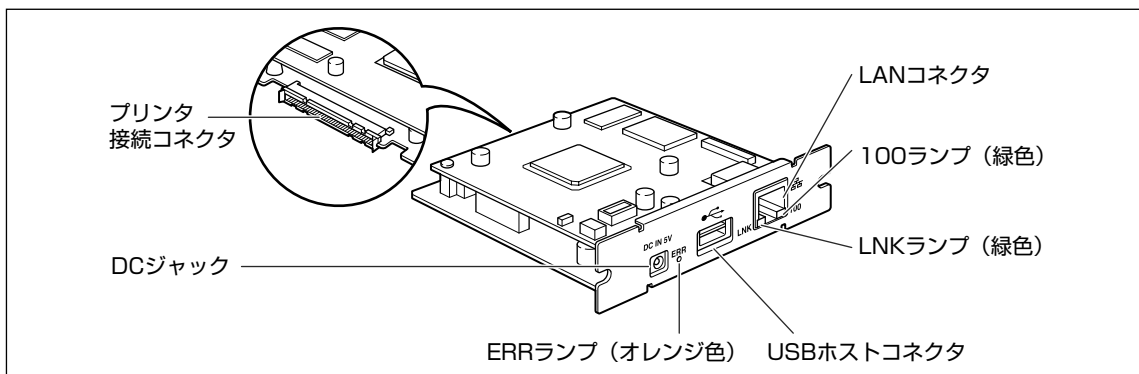
● **ネットワークの環境について**

NB-J2 は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

・10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

オプションの設置

・100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

Point

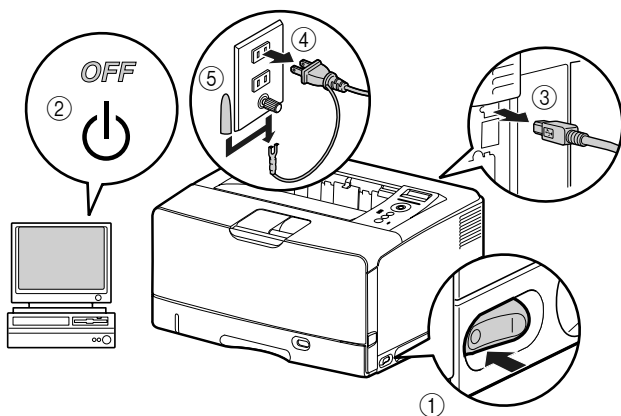
100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（裏表紙）へお問い合わせください。

各部の名称と機能

NB-J2 を取り付ける

NB-J2 は、次の手順でプリンタの拡張ボードスロットに取り付けます。

Point

NB-J2 の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外す

OFF
②
⑤
④
③
①

① プリンタの電源を切る

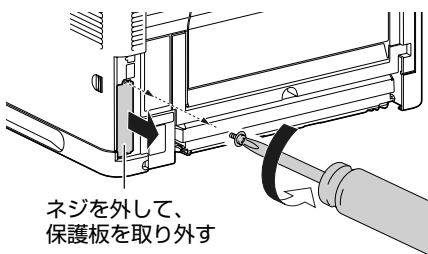
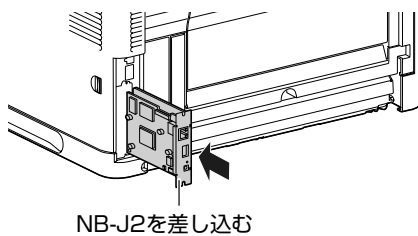
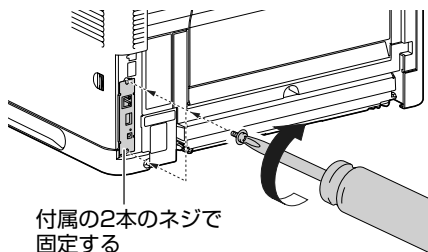
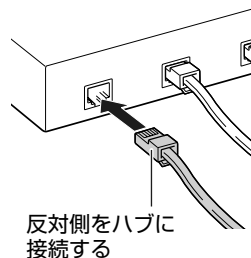
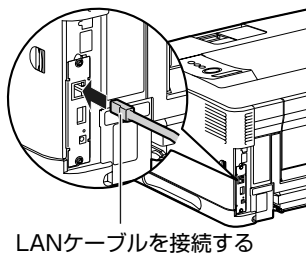
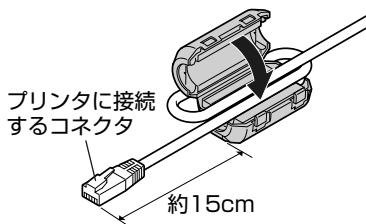
USB ケーブルを接続している場合
② コンピュータの電源を切る
③USB ケーブルを抜く

④ 電源プラグを抜く
⑤ アース線を抜く

※ LBP3980 をお使いの場合、プリンタのシャットダウンを行ってから電源を切ることをおすすめします。
WSD を使用している場合、シャットダウンを行うことで、プリンタの電源がオフになったことをパソコンに通知します。詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

電源コードをプリンタから取り外す

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動する

2 NB-J2 を取り付ける

ネジを外して、
保護板を取り外す

NB-J2を差し込む

付属の2本のネジで
固定する

ケーブルを接続する

電源コードをプリンタに接続する

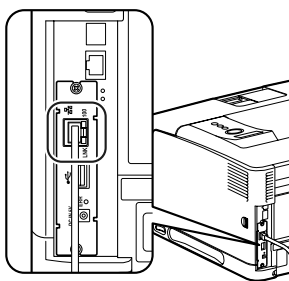
アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続する

必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続する

動作を確認する

プリンタの電源を入れる

NB-J2 のランプを確認する

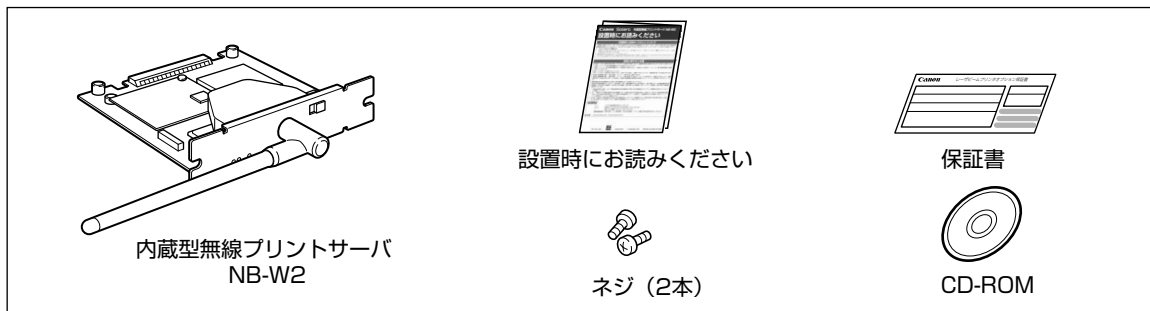
- 10BASE-T の場合：　LNK ランプが点灯していれば正常
- 100BASE-TX の場合：LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常

正常に動作していない場合

プリンタの電源を切って、次のことを確認してください。

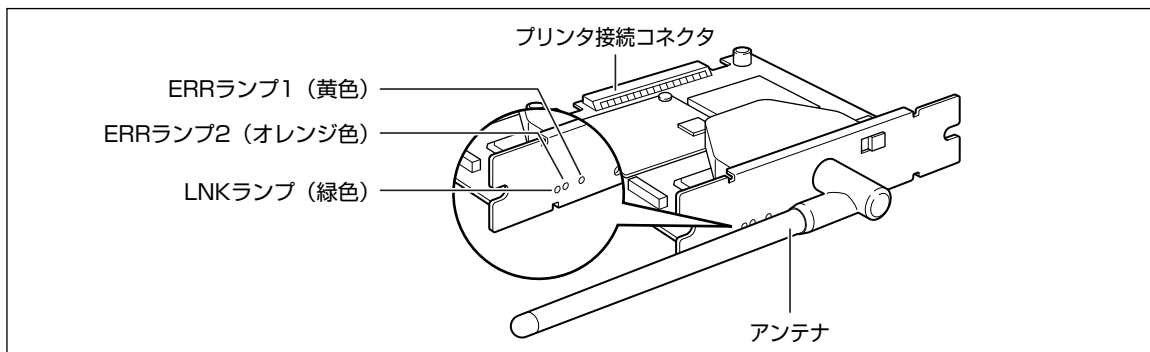
- LAN ケーブルが正しく接続されているか
- ハブが正しく動作しているか
- NB-J2 が正しく取り付けられているか

確認したあと、電源をオンにしても正常に動作しない場合は、NB-J2 に付属のユーザーズガイド「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

内蔵型無線プリントサーバ NB-W2（LBP3980 のみ）

NB-W2 はプリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

Check!

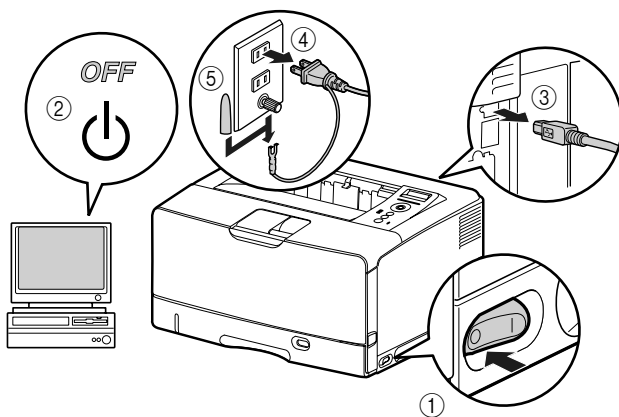
NB-W2 とプリンタに標準装備されているネットワークインタフェース (標準ネットワーク) の 2 つのインタフェースを同時に使用することはできません。使用するインタフェースの選択は、セットアップメニューのインタフェースグループにある「拡張カード」の「優先ネットワーク設定」で設定します。詳しくは、NB-W2 に付属のユーザーズガイド「第 3 章 NB-W2 の設定」を参照してください。

各部の名称と機能

NB-W2 を取り付ける

NB-W2 は、次の手順でプリンタの拡張ボードスロットに取り付けます。

Point

- NB-W2 の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。
- NB-W2 は LBP3930/3910 では使用できません。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外す

① プリンタの電源を切る

USB ケーブルを接続している場合
② コンピュータの電源を切る
③USB ケーブルを抜く

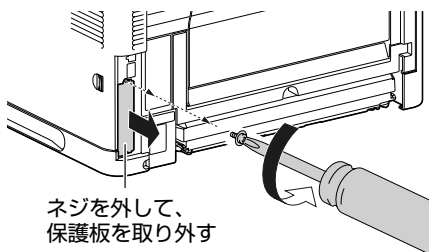
④ 電源プラグを抜く
⑤ アース線を抜く

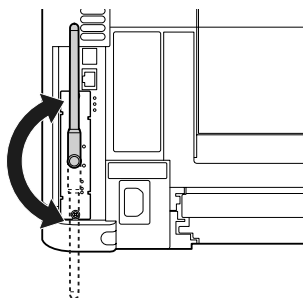
※ プリンタのシャットダウンを行ってから電源を切ることをおすすめします。WSD を使用している場合、シャットダウンを行うことで、プリンタの電源がオフになったことをパソコンに通知します。詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

電源コードをプリンタから取り外す

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動する

2 NB-W2 を取り付ける

オプションの設置

通信しにくい場合

次の範囲でアンテナを動かして調節してください。

ケーブルを接続する

電源コードをプリンタに接続する

▼

アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続する

▼

必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続する

▼

NB-W2 の取り付けが完了しました。NB-W2 を使用するには、NB-W2 に付属のユーザーズガイド「第3章 NB-W2 の設定」を参照してネットワークの設定を行ってください。

第6章

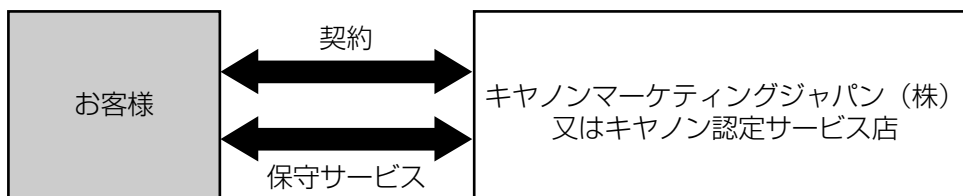
お役立ち情報

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

お役立ち情報

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

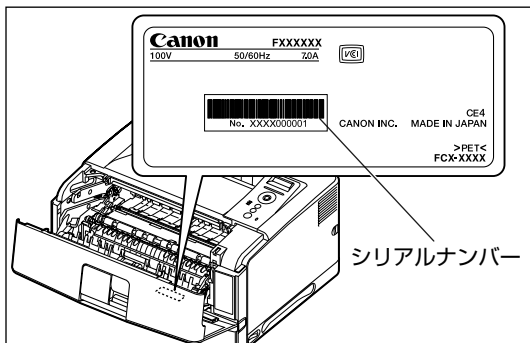
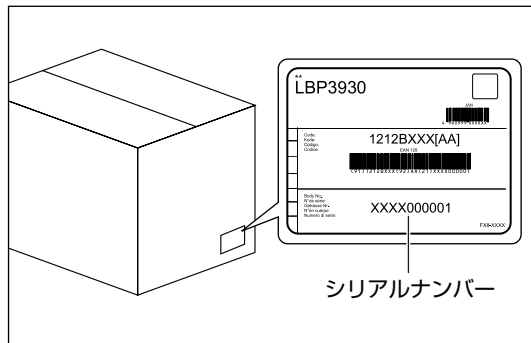
本製品の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

■ 前カバー内側

■ 梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

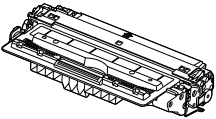
インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

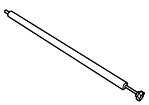
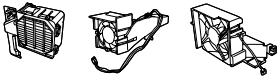
■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品

本プリンタでは、消耗品として次のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、次の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の平均印字可能枚数より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	・交換用トナーカートリッジ：12,000 枚 ・本プリンタに付属のトナーカートリッジ：6,000 枚	印刷するデータを現像して転写するための部品です。（➞トナーカートリッジの交換方法：P.3-2）

定期交換部品

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。定期交換部品の交換は専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
転写ローラ	300,000ページ （A4横片面）	トナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	300,000ページ （A4横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。
ファンモータ（プリンタ、両面ユニット）	25,000時間	冷却用ファンのモータです。

設置場所

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 32.5 ℃
- 周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

■ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因になります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力はそれぞれ次のようになっています。

- LBP3980：980W 以下（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）
- LBP3930：980W 以下（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）
- LBP3910：950W 以下（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- プリンタへの電源供給が安全であることや、安定電圧であることを確認してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

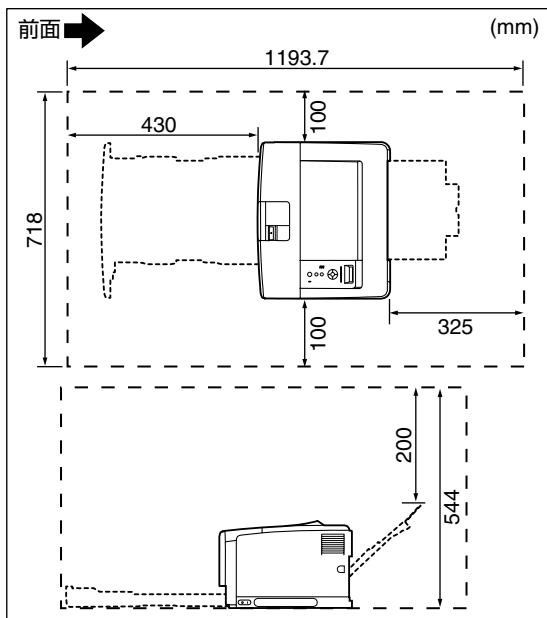
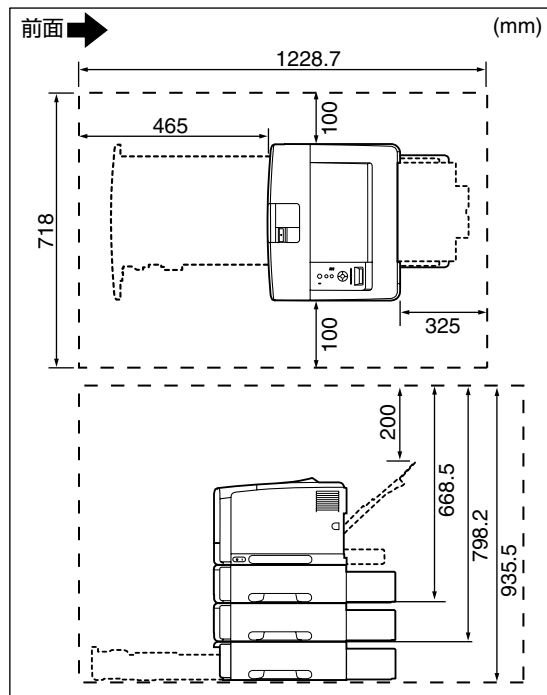
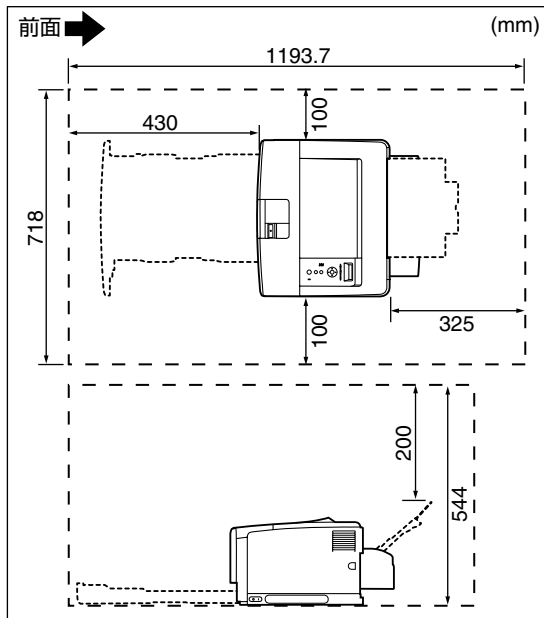
設置スペース

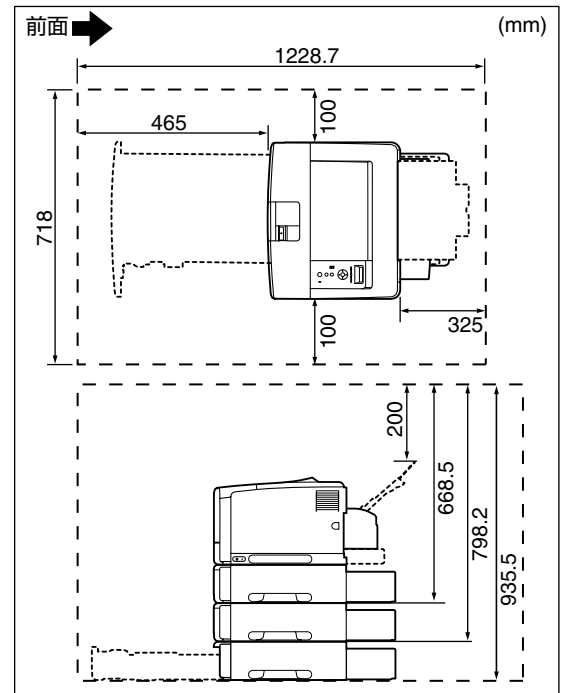
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

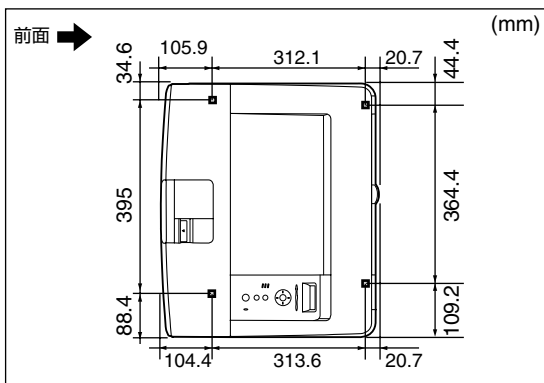
周囲に必要なスペース

■ 標準状態

■ ペーパーフィーダ装着状態

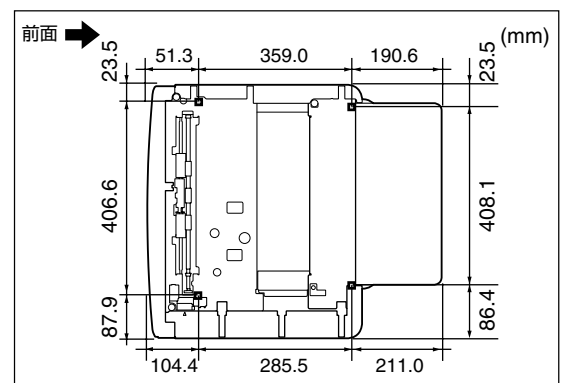
お役立ち情報

■ 両面ユニット装着状態

■ ペーパーフィーダ＋両面ユニット装着状態

足の位置

■ プリンタ

■ ペーパーフィーダユニット PF-67G

お役立ち情報

第7章

索引

目的別索引

どんなことで困っていますか？

■ ディスプレイにメッセージが表示されている

表示されているメッセージ

■ 紙づまりが起きている

■ 印刷結果が正しくない

どんなことが知りたいですか？

■ 操作方法が知りたい

■ 本プリンタについて知りたい

索引

用語別索引

索引

メニュースタートアップ

ユーティリティメニュー（MAP D）
プリンタの現在の設定内容などの内部情報を印刷します。

リセットメニュー（MAP D）
プリンタのリセット操作や印刷データの排出を行います。

ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。

ジョブメニュー（MAP D）
各種の履歴リストを印刷します。

セットアップメニュー（MAP A、MAP B、MAP C）
レイアウトの調整や、拡大／縮小など、印刷するときの環境を設定します。

給紙選択メニュー（MAP D）
給紙カセットと手差しトレイのどちらから印刷するのかや、用紙のサイズを設定します。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

ルートマップの見かた

←キー操作
←「グループ」の階層をあらわしています。
←「設定項目」の階層をあらわしています。
←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ●ルートマップ中の「┅┅」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「＊1」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- ●「＊2」印が付いている項目や設定値はLBP3980のみ表示されます。
- ●「＊3」印が付いている項目や設定値はLBP3980とLBP3930/3910では操作パネルに表示される階層や位置が異なる場合があります。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲ 上の項目に戻る。
  - ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
  - ◀ 左の項目を選択する。
  - ▶ 右の項目を選択する。

MAP A MAP B 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

MAP C LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◀］または［▶］を押します。

LIPS4セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

カクダイ/シュクショウ →

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◀］または［▶］を押します。

ESC/P セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ページ゛レイアウト →

MAP C IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示するこができます。

3.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◀］または［▶］を押します。

IMAGING セットアップ゜ →

4. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ガゾウノムキ →

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ センタク
キュウシ モード →

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

MAP D ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

ジョブ
ジョブリレキリスト →

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータスプリント →

MAP D リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

リセット
ソフトリセット →

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP B
メニュールートマップ
共通セットアップ編
MAP A
MAPAより
インタフェース
下段に続く
インタフェース選択
P.3-30
USB
使う
使わない
ネットワーク
使う
使わない
タイムアウト
P.3-30
5秒
15秒
300秒
しない
標準ネットワーク
TCP/IP設定
P.3-32
IPv4設定
IPモード
手動
自動
プロトコル
DHCP
BOOTP
RARP
オフ
オン
アドレス
IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
(数値入力)
IPアドレス範囲設定
受信/印刷拒否
指定アドレス設定
受信/印刷許可
許可アドレス設定
設定/参照拒否
設定/参照許可
しない
する
DNS
プライマリアドレス
セカンダリアドレス
IPv6設定
IPv6
WINS
ARP/PING
FTP
FTP印刷
FTP設定
LPD印刷
RAW印刷
BMLinkS
IPP印刷
WSD
WSD印刷
WSD参照
マルチキャスト探索
HTTP
SNTP
探索応答
MACアドレス設定
受信許可
許可アドレス設定
許可MACアドレス1
許可MACアドレス50
動作モード
上段から続く
AppleTalk
P.3-35
SMB
SMBサーバ
SNMP/SNMPv1
P.3-36
SNMPv3設定
P.3-36
SNMPv3
ユーザ設定1
ユーザ設定5
認証パスワード
暗号化パスワード
起動待機時間
P.3-37
0秒
300秒
リモートUI設定
P.3-37
リモートUI
SSL
Ethernetドライバ
P.3-37
自動検出
通信方式
半2重
全2重
Ethernet種類
10BASE-T
100BASE-TX
MACアドレス
(表示のみ)
ネットワーク設定初期化
P.3-38
拡張カード
P.3-38
コネクション認識
P.3-38
拡張受信バッファ
P.3-38
動作モード選択
P.3-39
自動選択
LIPS
N201
ESC/P
I5577
HP-GL
HP-GL/2
HEX-DUMP
LIPS-DUMP
自動切り替え
P.3-43
優先エミュレーション
P.3-43
なし
ユーザメンテナンス
MAP C
MAPCをご参照ください
印字位置調整
P.3-44
縦位置補正(トレイ)
横位置補正(トレイ)
縦位置補正(カセット1)
横位置補正(カセット1)
縦位置補正(カセット2)
横位置補正(カセット2)
縦位置補正(カセット3)
横位置補正(カセット3)
縦位置補正(カセット4)
横位置補正(カセット4)
縦位置補正(両面)
横位置補正(両面)
-5.0
0.0
5.0
-2.59
2.59
リカバリ印刷
P.3-45
用紙長さ確認
P.3-45
用紙サイズ置換
P.3-46
特殊印字モードA
P.3-46
モード1
モード2
モード3
モード4
うねり特殊処理
P.3-46
ファームウェア更新
USB
P.3-47
標準ネットワーク
P.3-47

MAP C

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING・LIPS4・LIPS LX セットアップ編

メニュールートマップ

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.7-12
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-21

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *1
  - カセット3 *1
  - カセット4 *1
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 4面ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - 封筒K2
  - A5
  - B5
- カセット1用紙サイズ
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット2用紙サイズ *1
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット3用紙サイズ *1
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット4用紙サイズ *1
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- 両面印刷 *1
  - しない
  - する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.7-10
リセットメニューの機能と操作 P.2-17

- ハードリセット
  ソフトリセット
- 排出
- シャットダウン *2

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.7-9
ジョブメニューの機能と操作 P.2-15

- ジョブ履歴リスト
- レポート履歴リスト

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.7-4
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-13

- ステータスプリント
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント *1
- N201ユーティリティ *1
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- I5577ユーティリティ *1
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- HP-GLユーティリティ *1
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- HP-GL/2ユーティリティ *1
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- クリーニング
  - A4
  - LTR
- N/Wステータスプリント
- 拡張カードリスト *1
- 印字位置プリント

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。
ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）	商品名称	本体機番
	LBP3980	LYTA000001
	LBP3930	LYXA000001
	LBP3910	LYYA000001

（保証書および前カバー内側、梱包箱外側に記載されています。）

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

・消耗品やオプション品のご購入について
・故障時の修理について

キヤノンホームページ

・プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
・トラブル発生時の解決方法
・商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

・技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
・消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
・故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　<平日>9:00～20:00　<土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

FT5-1978　(020)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN JAPAN